

閱 覧

**第 3 期大泉町特定健康診査等実施計画
（ 素 案 ）**

**平成 2 9 年 1 1 月
大泉町**

目 次

序章 計画策定にあたって

1. 計画策定の趣旨・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
2. 計画の位置づけ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
3. 計画の期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

第1章 大泉町の現状

1. 総人口と国民健康保険被保険者の推移・・・・・・・・ 4
2. 国民健康保険被保険者（年齢階層別）の推移・・・・ 4
3. 医療費の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
4. 医療費諸率の分析結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
5. 特定健康診査と特定保健指導の実施状況・・・・・・ 8
6. 大泉町国民健康保険における健康課題・・・・・・・・ 12

第2章 計画の目標

1. 基本的な考え方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
2. 目標設定の考え方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
3. 目標値の設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14

第3章 目標達成に向けた取り組み

1. 特定健康診査の実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
2. 特定保健指導の実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
3. 実施スケジュール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22

第4章 目標実現のための施策の実施

1. メタボリックシンドローム予防知識の普及啓発・・・・ 23
2. 受診勧奨の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
3. 受けやすい特定健康診査・特定保健指導の仕組みづくり・・・・ 24
4. 特定健康診査結果の通知と活用の促進・・・・・・・・ 24
5. 代行機関の利用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24

第5章 特定健康診査等の記録の管理・保存

1. 記録の管理・保存・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
2. 個人情報の保護・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25

第6章 特定健康診査等実施計画の公表、評価及び見直し

1. 特定健康診査等実施計画の公表・周知・・・・・・・・ 26
2. 特定健康診査等実施計画の評価・見直し・・・・・・ 26

資料編

医療費分析の結果

1. 国民健康保険医療費分析の目的…………… 28
2. 医療費諸率（入院・入院外）…………… 28
3. 疾病分類別医療費分析…………… 32
4. 年度別受診傾向（上位 5 疾患）…………… 34
5. 年度別医療費動向（上位 5 疾患）…………… 36
6. 疾患別受診傾向の推移（生活習慣病要因を含む上位疾患）… 38
7. 疾患別医療費動向の推移（生活習慣病要因を含む上位疾患）・ 40
8. 生活習慣病の件数割合と内訳…………… 42
9. 生活習慣病の費用額割合と内訳…………… 43
10. 年代別受診率と費用額…………… 44

特定健康診査の分析結果

1. 特定健康診査データ分析の目的…………… 46
2. 特定健康診査検査値（平成 25 年度～平成 29 年度）…………… 46
3. 特定健康診査の実施状況…………… 46
4. メタボリックシンドローム該当者・予備群の状況…………… 55

序章 計画策定にあたって

1. 計画策定の趣旨

(1) 背景及び趣旨

急速な少子高齢化、経済の低成長への移行、国民生活や意識の変化など、大きな環境変化の中で、国民皆保険や医療制度を将来にわたり持続可能なものにしていくためには、その構造改革が急務となっています。

このような状況に対応するため、国民誰もが願う健康と長寿を確保しつつ、医療費の伸びの抑制にも資することから、生活習慣病を中心とした疾病予防を重視した医療制度改革が行われ、高齢者の医療の確保に関する法律（昭和57年法律第80号。以下「法」という。）に基づいて、保険者は被保険者に対し、糖尿病等の生活習慣病に関する健康診査及び健康診査の結果により健康の保持に努める必要がある者に対する保健指導を実施することが義務付けられました。

大泉町においても、これまで第1期及び第2期の特定健康診査等実施計画を策定し、特定健康診査^(※1)及び特定保健指導^(※2)に取り組んできました。第2期計画では2017（平成29）年度が計画の終了年次となるため、目標値や実施方法、体制等の見直しを行い、「第3期大泉町特定健康診査等実施計画」（以下「第3期計画」という。）を策定し、被保険者の健康の保持増進を図ります。

※1 特定健康診査

厚生労働省により、2008（平成20）年から国民健康保険や健康保険組合などの保険者の実施が義務づけられました。40歳から74歳が対象で、生活習慣病の発症や重症化を予防することが目的で、メタボリックシンドロームの該当者や予備群を減少させるための特定保健指導を必要とする方を把握するための健康診査です。

※2 特定保健指導

特定健康診査の結果、厚生労働省が定める基準値に該当する方を対象に行われます。生活習慣の改善による生活習慣病の予防効果が多く期待できる方に対して、医師・保健師・管理栄養士が生活習慣を見直すサポートを行います。



(2) メタボリックシンドローム^(※3)に着目する意義

糖尿病・高血圧症・高脂血症等の生活習慣病は、内臓脂肪の蓄積（内臓脂肪型肥満）に起因することが多く、肥満に加えて高血糖、高血圧、脂質代謝異常が重複した状態をメタボリックシンドロームといい、虚血性心疾患や脳血管疾患等の動脈硬化性疾患を発症する危険性が高くなります。

このため、このメタボリックシンドロームの概念に基づき、生活習慣を改善して内臓脂肪を減らすことにより、生活習慣病やこれが重症化した動脈硬化性疾患の発症リスクの低減を図るという考えを基本とするものです。



※3 メタボリックシンドローム

内臓脂肪蓄積に加えて、血糖（血液の中のブドウ糖の濃度）や脂質（HDL コレステロールと中性脂肪）・血圧が一定以上の値を示している場合をいいます。

(3) 計画策定の考え方

この計画は、大泉町国民健康保険がメタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少により、被保険者の健康維持・生活の質の向上と、中長期的な医療費の適正化を図るために、国が示す特定健康診査等基本指針に即して、特定健康診査・特定保健指導を効果的・効率的に実施する体制等について定めるものです。

項 目	第3期計画の基本的考え方
健診と保健指導の関係	・メタボリックシンドローム予防のための保健指導を必要とする者を抽出する健康診査
特 徴	・結果を出す保健指導
目 的	・メタボリックシンドロームに着目した早期介入・行動変容リスクの重複がある対象者に対し、医師・保健師・管理栄養士等が早期に介入し、行動変容につながる保健指導を行う。
内 容	・自己選択と行動変容 対象者が身体のメカニズムと生活習慣との関係を理解し、生活習慣の改善を自らが選択し、行動変容につなげる。
保健指導の対象者	・健診受診者全員に対し、必要度に応じ、階層化された保健指導を提供 リスクに基づく優先順位をつけ、保健指導の必要性に応じて「情報提供」「動機づけ支援」「積極的支援」を行う。

項 目	第3期計画の基本的考え方
方 法	・健診結果の経年変化及び将来予測を踏まえた保健指導 ・データ分析等を通じて集団として健康課題を設定し、目標に沿った保健指導を計画的に実施 ・個々の健診結果を読み解くとともに、ライフスタイルを考慮した保健指導
評 価	・アウトカム（結果）評価 特定保健指導対象者の減少
実施主体	・大泉町国民健康保険

2. 計画の位置づけ

この計画は法第19条第1項の規定に基づき、医療保険者である大泉町国民健康保険が策定し、第五次大泉町総合計画、第二次元気タウン大泉健康21計画や群馬県医療費適正化計画などの諸計画と整合性を図りました。

3. 計画の期間

第1期及び第2期は5年を一期としていましたが、医療費適正化計画が6年一期に見直されたことを踏まえ、第3期からは6年を一期とします。

このため、計画の期間は、2018（平成30）年度から2023（平成35）年度までの6年間とし、必要に応じて見直しを行うものとします。

第1章 大泉町の現状

1. 総人口と国民健康保険被保険者の推移

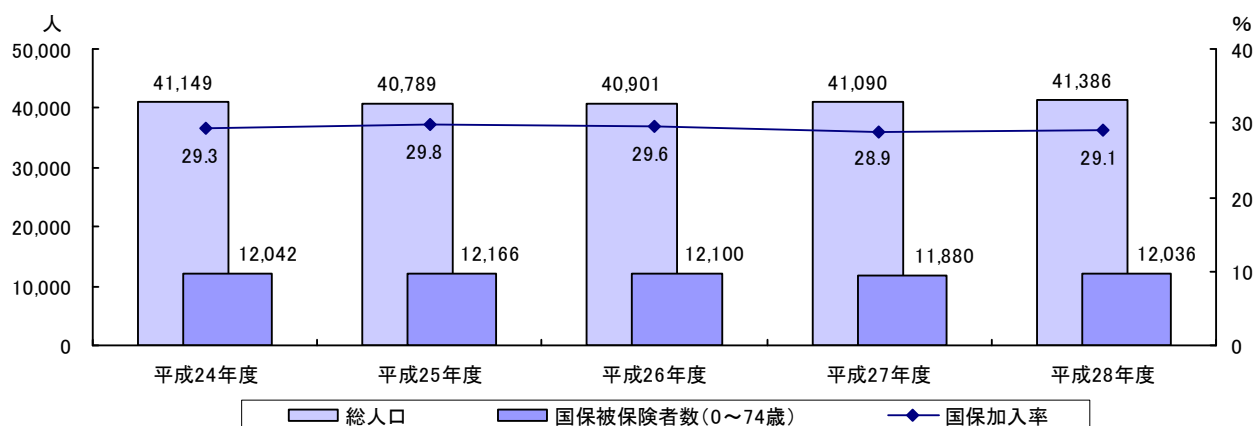
総人口は増加が続いていますが、国民健康保険被保険者数は年度により増減を繰り返し、2012（平成24）年度以降12,000人前後と横這いで推移しています。2016（平成28）年度の国民健康保険被保険者数は12,036人、国民健康保険加入率は29.1%です。

国民健康保険被保険者数と加入率の推移

単位：人、%

区 分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
総人口	41,149	40,789	40,901	41,090	41,386
国保被保険者数(0～74歳)	12,042	12,166	12,100	11,880	12,036
国保加入率	29.3	29.8	29.6	28.9	29.1

資料：住民基本台帳（各年5月31日現在）



2. 国民健康保険被保険者（年齢階層別）の推移

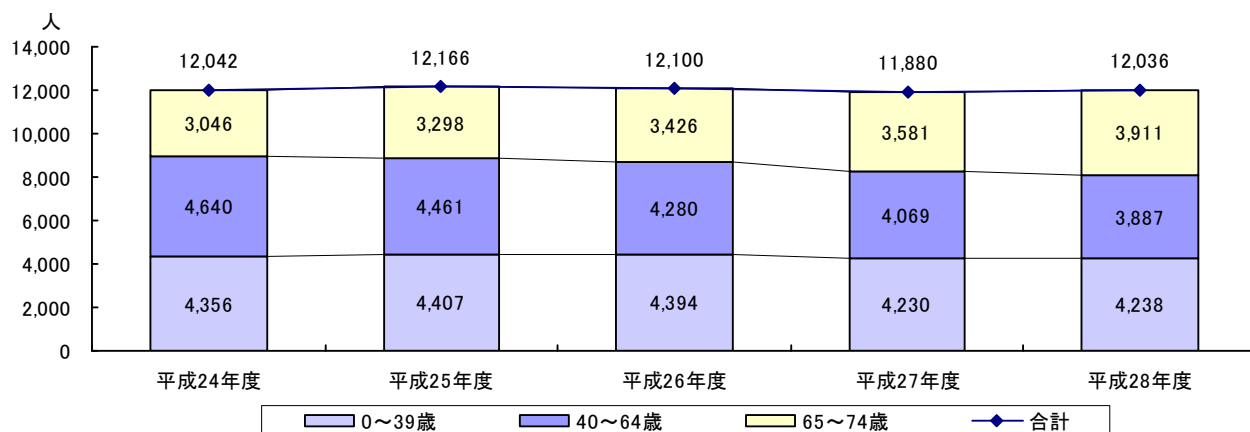
国民健康保険被保険者の年齢階層別の推移は、65～74歳の高齢者加入数が増加しているのに対し、40～64歳は減少、0～39歳は年度により増減を繰り返しており、今後この傾向は続く予測されます。

国民健康保険被保険者数（年齢階層別）の推移

単位：人

区 分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
0～39歳	4,356	4,407	4,394	4,230	4,238
40～64歳	4,640	4,461	4,280	4,069	3,887
65～74歳	3,046	3,298	3,426	3,581	3,911
合計	12,042	12,166	12,100	11,880	12,036

資料：住民基本台帳（各年5月31日現在）



3. 医療費の推移

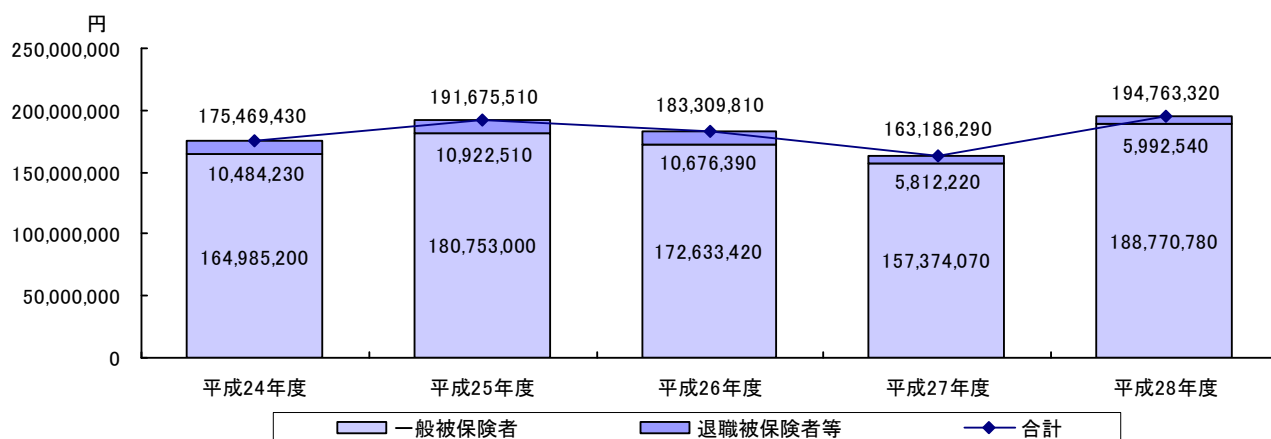
国民健康保険の疾病分類統計表で一ヶ月分の医療費総額を比較すると、年度により増減を繰り返していますが、2016（平成28）年度は、この5年間で最も多い1億9,476万円となっています。

医療費の推移

単位:円

区 分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
一般被保険者	164,985,200	180,753,000	172,633,420	157,374,070	188,770,780
退職被保険者等	10,484,230	10,922,510	10,676,390	5,812,220	5,992,540
合計	175,469,430	191,675,510	183,309,810	163,186,290	194,763,320

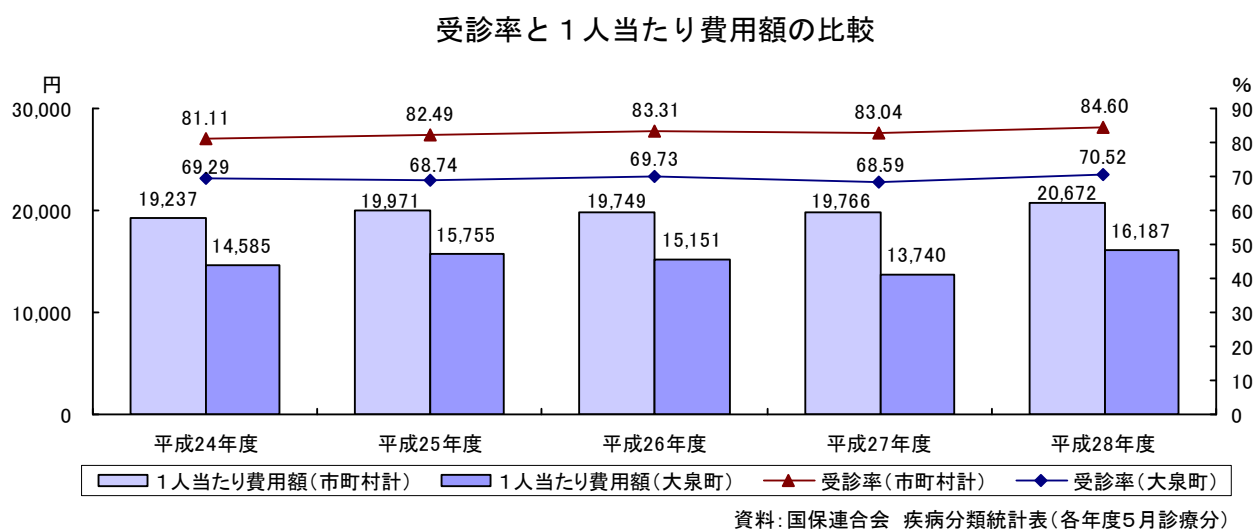
資料:国保連合会 疾病分類統計表(各年度5月診療分)



4. 医療費諸率の分析結果

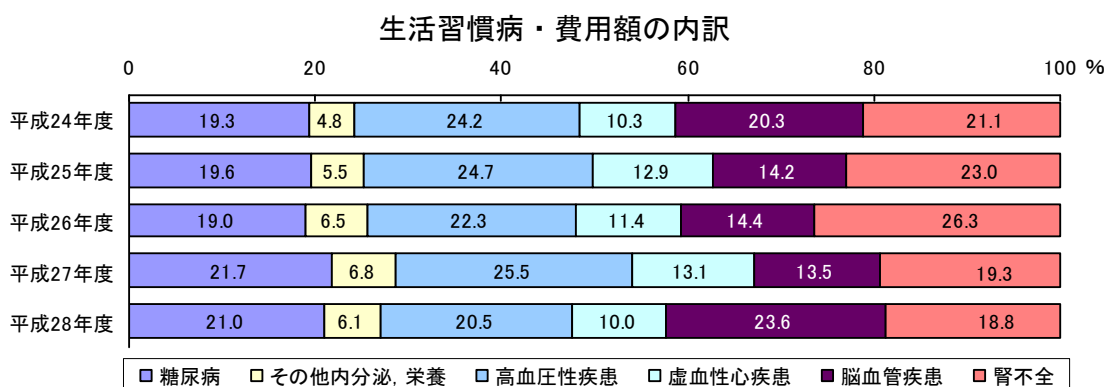
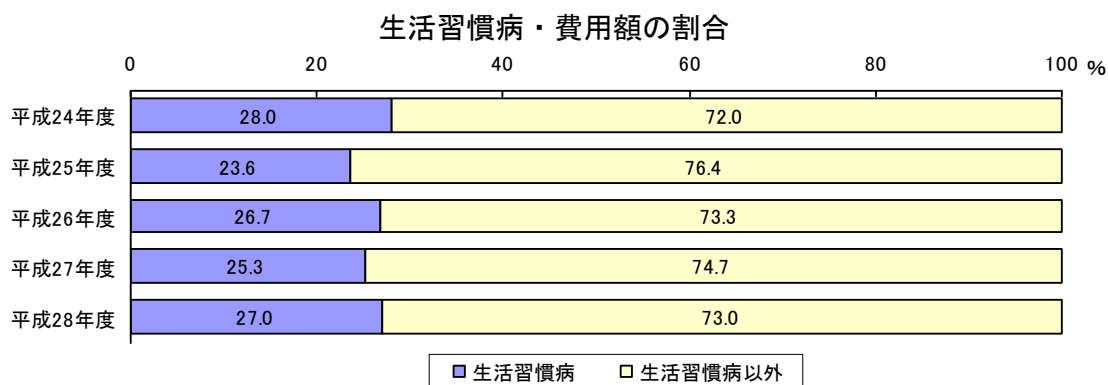
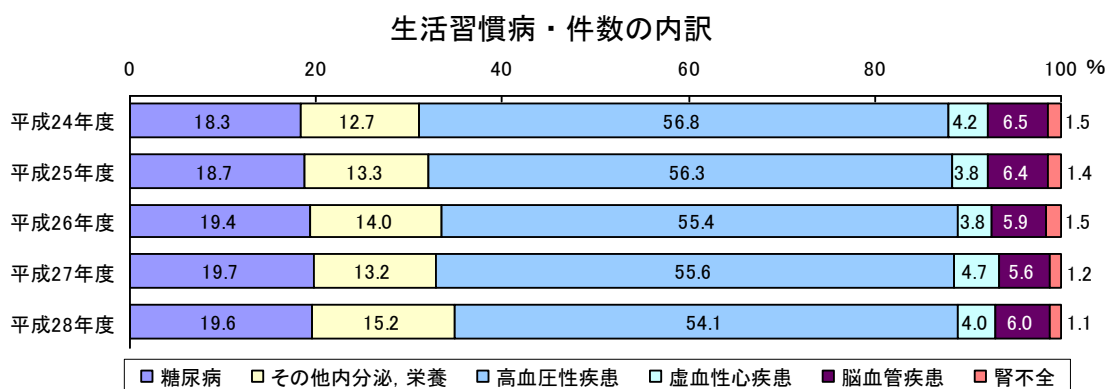
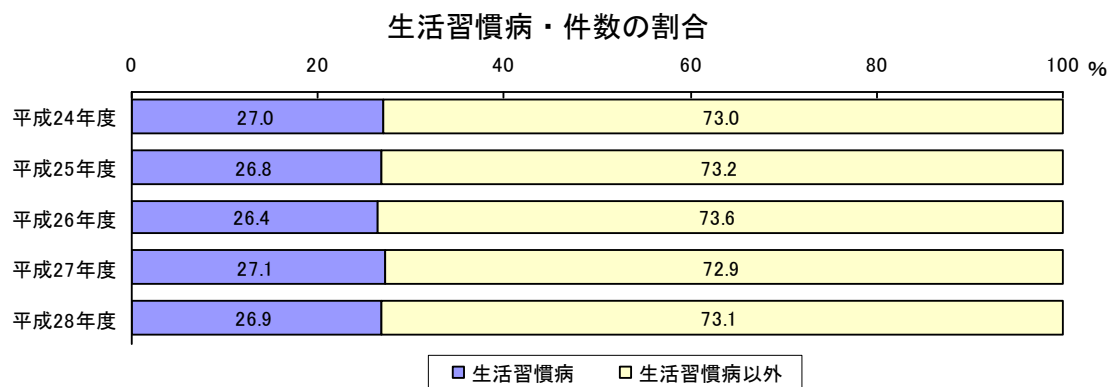
(1) 受診率と1人当たり費用額の比較（各年度5月診療分）

大泉町と群馬県の市町村計との比較では、医療機関の受診率では各年ともに1割以上低い割合で推移しており、2016（平成28）年度の大泉町の受診率は70.52%です。
1人当たり費用額も、2016（平成28）年度の大泉町は16,187円で、県内市町村に比べ4,485円低くなっています。



(2) 生活習慣病の件数と費用額の割合

生活習慣病の件数割合は、約3割と、横這いで推移しています。件数の内訳では高血圧性疾患が各年度5割を超え、次いで糖尿病、その他内分泌、栄養となっています。費用額は、件数割合と同様に、生活習慣病が約3割となっています。費用額の内訳では年度により増減がありますが、高血圧性疾患や腎不全、糖尿病が比較的高い割合で推移していますが、2016（平成28）年度は脳血管疾患の割合が最も高くなっています。



5. 特定健康診査と特定保健指導の実施状況

(1) 特定健康診査の実施状況（40～74 歳）

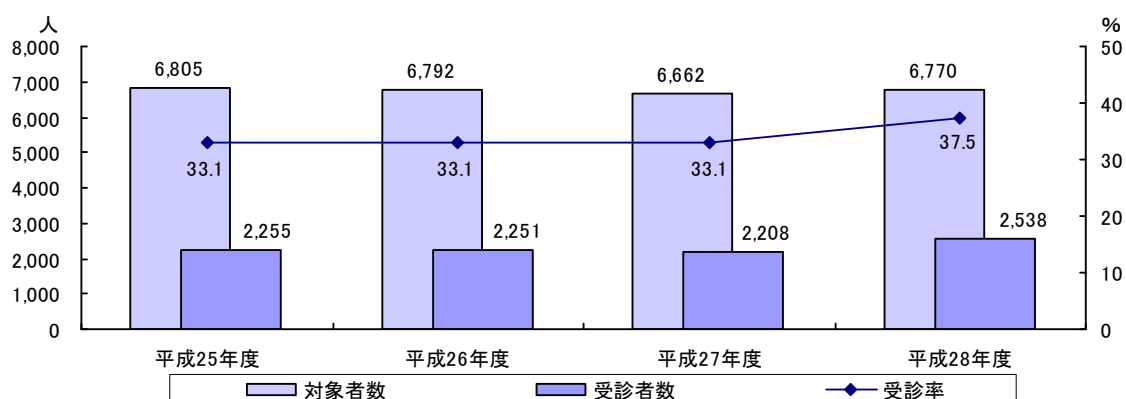
特定健康診査の受診者数と受診率は、2015（平成 27）年度から 2016（平成 28）年度にかけ、その増加が著しく、2016（平成 28）年度の受診者数は 2,538 人、受診率は 37.5%となっています。

男女別の受診者の状況は、男性、女性いずれも 2015（平成 27）年度から 2016（平成 28）年度にかけて増加は著しいものがあり、2016（平成 28）年度の受診率は男性 32.5%、女性 42.2%となっています。男性の受診率は女性に比べ低い割合になっています。

特定健康診査受診者数と受診率 単位:人、%

区 分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
対象者数	6,805	6,792	6,662	6,770
受診者数	2,255	2,251	2,208	2,538
受診率	33.1	33.1	33.1	37.5

資料:KDBシステム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」
「地域の全体像の把握」

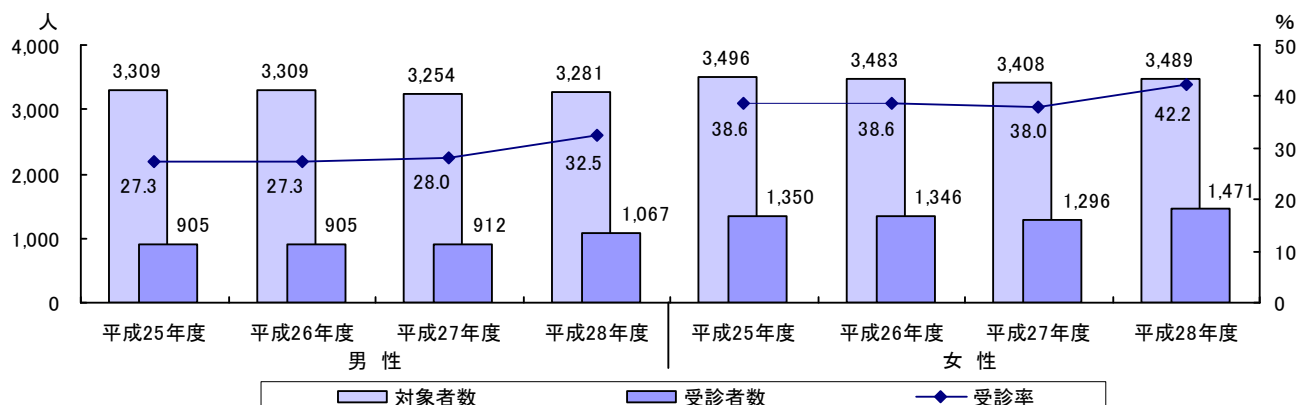


男女別特定健康診査受診者数と受診率

単位:人、%

区 分	男性				女性			
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
対象者数	3,309	3,309	3,254	3,281	3,496	3,483	3,408	3,489
受診者数	905	905	912	1,067	1,350	1,346	1,296	1,471
受診率	27.3	27.3	28.0	32.5	38.6	38.6	38.0	42.2

資料:KDBシステム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」「地域の全体像の把握」



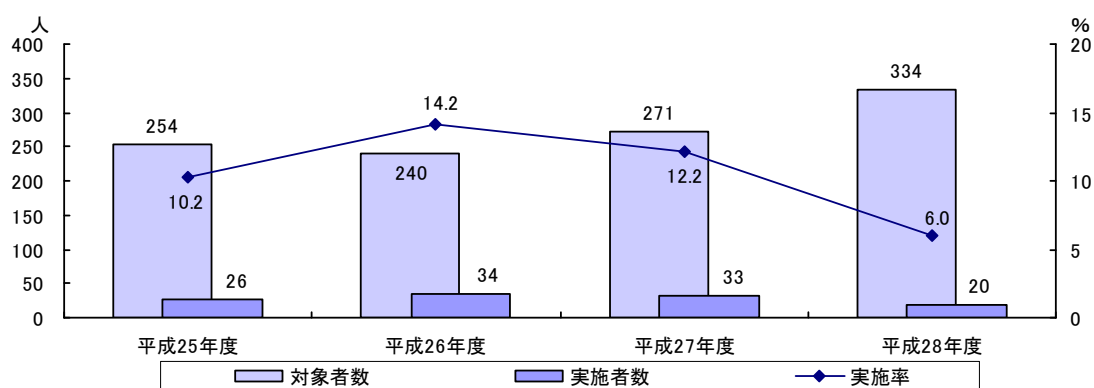
(2) 特定保健指導の実施状況

特定保健指導の2013（平成25）年度の対象者は254人ですが、2016（平成28）年度には334人と大きく増加しています。しかしながら、実施率は2013（平成25）年度の10.2%に対し、2016（平成28）年度は6.0%と大きく減少しています。特定保健指導の内訳は、2016（平成28）年度動機づけ支援^(※4)の対象者は239人、実施率は6.3%、積極的支援^(※5)の対象者は95人、実施率5.3%となっています。

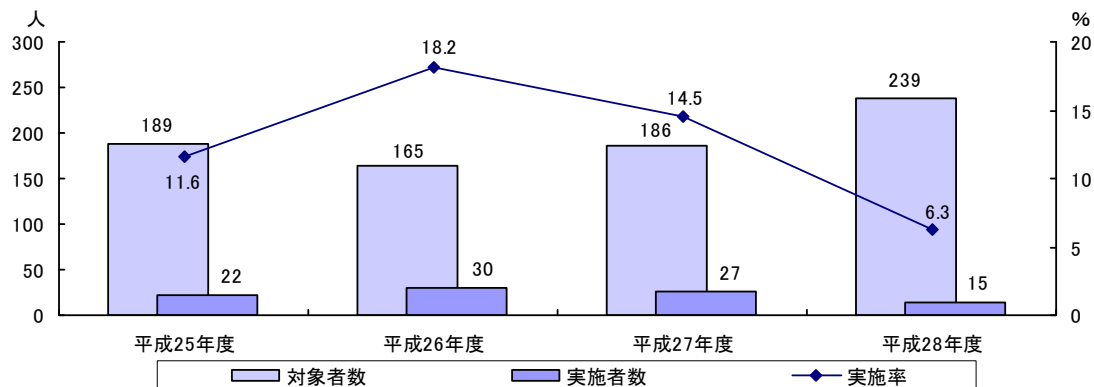
特定保健指導の実施状況（全体）単位：人、%

区 分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
対象者数	254	240	271	334
実施者数	26	34	33	20
実施率	10.2	14.2	12.2	6.0

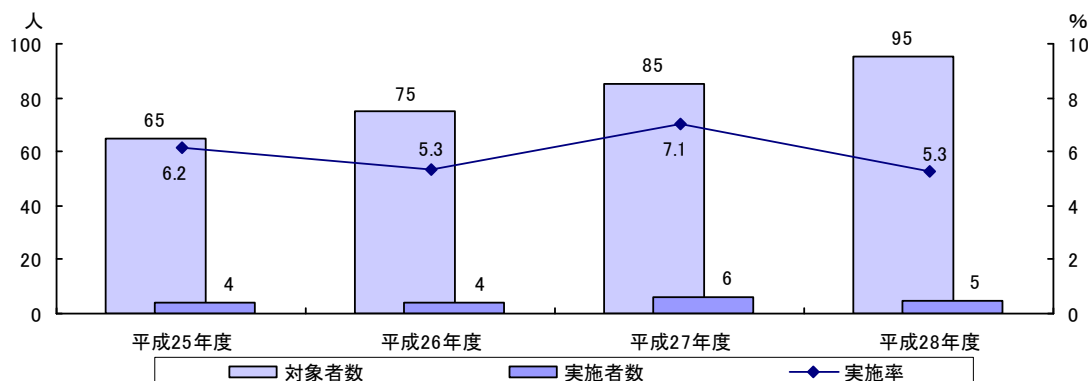
資料：国保連合会 特定健診等データ管理システムより抽出（法定報告）



特定保健指導の実施状況（動機づけ支援）



特定保健指導の実施状況（積極的支援）





※4 動機づけ支援

対象者となった人に対して、保健師などが個別性を重視した支援を行うことをいいます。

※5 積極的支援

対象者となった人に対して、保健師などが個別性を重視した支援をより積極的に行うことをいいます。

(3) メタボリックシンドローム該当者・予備群の状況

メタボリックシンドロームの該当者・予備群の受診者数に対する割合は2016（平成28）年度28.6%と、2013（平成25）年度からの推移とほぼ同じ割合となっています。

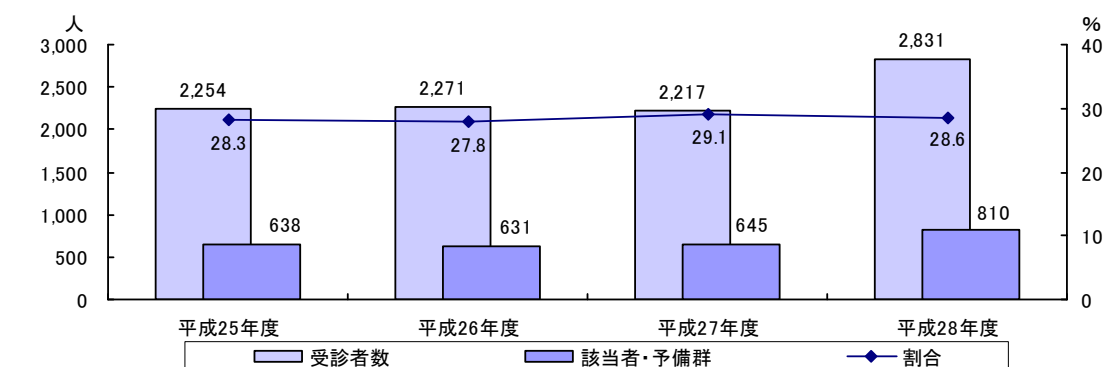
2016（平成28）年度について、予備群は291人、受診者に対する割合は10.3%となっています。該当者は2013（平成25）年度より増加が続き、2016（平成28）年度519人、受診者に対する割合は18.3%と、2014（平成26）年度及び2015（平成27）年度とほぼ同じ推移となっています。

メタボリックシンドローム該当者・予備群の状況

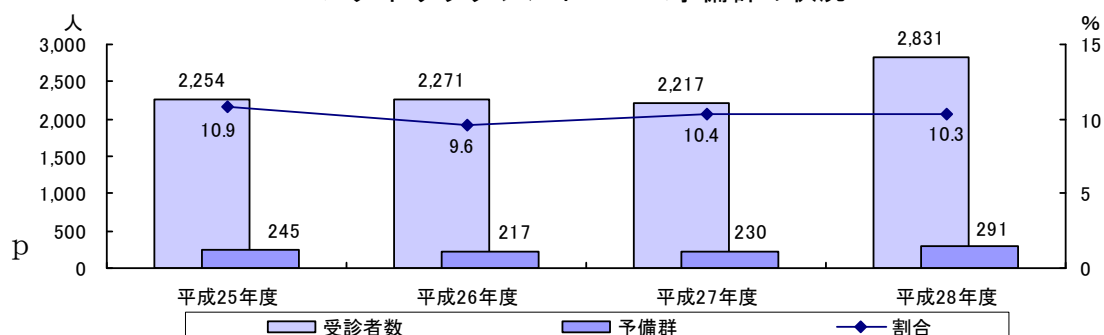
単位：人、%

区 分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
受診者数	2,254	2,271	2,217	2,831
該当者・予備群	638	631	645	810
割合	28.3	27.8	29.1	28.6

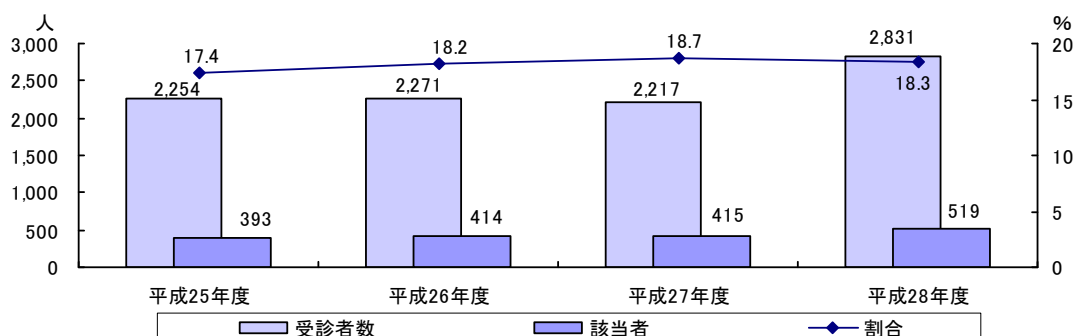
資料：国保連合会 特定健診等データ管理システムより抽出（法定報告）
（平成28年度の数値には人間ドック受診者数を含む）



メタボリックシンドローム予備群の状況



メタボリックシンドローム該当者群の状況



6. 大泉町国民健康保険における健康課題

大泉町国民健康保険の医療費諸率は、県内の他市町村に比べ、各項目において下回っています。2016（平成 28）年度の生活習慣病に係わる医療費は全体の 27.0%です。

疾病別の内訳をみると、高血圧性疾患で受診している割合が高く、2012（平成 24）年度から 2016（平成 28）年度まで 5 割を上回る推移となっています。糖尿病は 2 割に達しませんが、次第に増える傾向にあります。医療費は、高血圧性疾患が 2 割を上回って推移してきましたが、2016（平成 28）年度には脳血管疾患 23.6%、糖尿病 21.0%、高血圧性疾患 20.5%の順となっています。

2013（平成 25）年度～2016（平成 28）年度の特定健康診査の有所見者は、2013（平成 25）年度及び 2014（平成 26）年度では女性が男性をやや上回っていましたが、2015（平成 27）年度及び 2016（平成 28）年度では、男性が女性を上回っています。特定健康診査の健診項目をみると、腹囲では男性は 40 歳代から 5 割前後が有所見者となっていますが、2016（平成 28）年度では 40 歳代で 58.2%と、さらに割合を高めています。

また、血糖やHbA1c（※6）とも年齢が高くなるにつれ有所見者の人数が増加しています。そして、血圧では男女とも 50 歳代以上になると有所見者が多くなります。

メタボリックシンドローム予備群でも、男性の割合が高くなっています。また、男女とも各年代で高血圧の割合が高い結果となっています。

これらのことから、メタボリックシンドロームの該当者及び予備群は、すでに 40 歳代からみられ、特定健康診査の受診を促し、早期介入により、メタボリックシンドローム該当者や予備群の減少に努めることが重要です。

そのために、受診しやすい環境づくりなど、実施体制の充実を図り、特定健康診査・特定保健指導の必要性をさらに啓発していくことが必要となります。



※6 HbA1c

赤血球の中にある酸素を運ぶヘモグロビンに血糖中の糖が結合したものをいいます。

第2章 計画の目標

1. 基本的な考え方

(1) 特定健康診査

特定健康診査については、メタボリックシンドロームの該当者及び予備群を減少させるため、受診率の向上と、効果的、効率的な健診の実施により、特定保健指導の対象者を的確に抽出します。また、健診未受診者を確実に把握し、受診勧奨を行います。

(2) 特定保健指導

特定健康診査受診者全員に、健診結果の正しい理解と、生活習慣改善の必要性を認識していただけるよう情報提供を行います。また、特定保健指導対象者には、指導階層レベルにあわせた行動目標を設定し、自ら実行できるよう支援します。

2. 目標設定の考え方

本町においては、2023（平成 35）年度までの目標値を国の示す基準（参酌標準）に即しつつ、医療費の動向や過去の健康診査結果など、町の実情を踏まえて設定し、目標達成に必要な実施体制の確保を図ることとします。

《国の参酌標準》

(1) 特定健康診査の実施率	2023（平成 35）年度において、40～74 歳の被保険者の特定健康診査実施率を 60%とする。
(2) 特定保健指導の実施率	2023（平成 35）年度において、当該年度に特定保健指導（動機づけ支援及び積極的支援）の対象とされた人に対する特定保健指導の実施率を 60%とする。
(3) メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少率	メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少率については、保険者ごとの目標は設定しない。特定健診、保健指導の成果に関する目標は特定保健指導対象者数の減少とし、保険者全体の目標は、2023（平成 35）年度において、2008（平成 20）年度と比較した特定保健指導対象者減少率を 25%以上とする。

3. 目標値の設定

(1) 特定健康診査の実施率

2018（平成 30）年度の特定健康診査の実施者数を 3,148 人、実施率を 45.0%と定めます。2023（平成 35）年度の実施者数 4,075 人、実施率 60.0%を目指します。

特定健康診査の目標実施者・実施率

単位：人・%

	2018（平成 30）年度	2019（平成 31）年度	2020（平成 32）年度	2021（平成 33）年度	2022（平成 34）年度	2023（平成 35）年度
対象者	6,996	7,001	7,007	6,935	6,864	6,792
実施者数	3,148	3,151	3,504	3,468	3,775	4,075
実施率	45.0	45.0	50.0	50.0	55.0	60.0

(2) 特定保健指導の実施率

2018（平成 30）年度の特定保健指導の実施者数を 50 人、実施率を 15.0%と定めます。2023（平成 35）年度の実施者数 220 人、実施率 60.0%を目指します。

特定保健指導の目標実施者・実施率

単位：人・%

	2018（平成 30）年度	2019（平成 31）年度	2020（平成 32）年度	2021（平成 33）年度	2022（平成 34）年度	2023（平成 35）年度
対象者	331	321	347	333	351	367
実施者数	50	64	104	133	176	220
実施率	15.0	20.0	30.0	40.0	50.0	60.0

(3) メタボリックシンドローム該当者及び予備群の減少率

2023（平成 35）年度のメタボリックシンドローム該当者及び予備群は、特定保健指導対象者の減少を目標とし、2008（平成 20）年度と比べて、25%の減少を目指します。

第3章 目標達成に向けた取り組み

1. 特定健康診査の実施

(1) 対象者

本町に住所を有する40歳から74歳の国民健康保険被保険者

(2) 実施場所・時期

集団健診は大泉町保健福祉総合センター及び地域公民館等で、個別健診は契約医療機関で実施します。実施時期は集団健診が5月～12月、個別健診が6月～8月です。

詳細は、毎年度当初に当該年度分を決定し、町の広報、ホームページ等で周知を図ります。

(3) 受診案内・受診方法

案内は、受診券・質問票、案内を特定健康診査対象者に郵送することにより行います。受診券及び被保険者証を持参の上、指定された場所で受診します。本人自己負担は無料とします。

(4) 実施項目

生活習慣病等の疾病予防に資するため、次の事項を健診項目として設定します。

① 基本的な健診項目

項 目		備 考
既往歴の調査		服薬歴及び喫煙習慣の状況に係る調査（質問表を含む）
自覚症状及び他覚症状の有無の検査		理学的検査（身体診察）
身長、体重及び腹囲の測定		腹囲の測定は、厚生労働大臣が定める基準に基づき、医師が必要でないと認める時は省略可。腹囲の測定に代えて、内臓脂肪面積での測定でも可。
BMIの測定		$BMI = \text{体重 (kg)} \div \text{身長 (m)} \div \text{身長 (m)}$
血圧の測定		上腕動脈の血圧
血液検査	脂質検査	中性脂肪、HDL コレステロール、LDL コレステロール
	肝機能検査	AST (GOT)、ALT (GPT)、 γ -GT (γ -GTP)
	血糖検査	空腹時血糖、HbA1c
	腎機能検査	血清クレアチニン、血清尿酸
尿検査		尿中の糖及び蛋白の有無

② 詳細な健診項目（医師の判断による追加項目）

項 目	実施できる条件（判断基準）	
貧血検査 （ヘマトクリット値、血色素量及び赤血球数の測定）	貧血の既往歴を有する者または視診等で貧血が疑われる者	
心電図検査（12 誘導心電図）	当該年度の特定健康診査の結果等において、収縮期血圧 140mmHg 以上、若しくは拡張期血圧 90mmHg 以上、または問診等で不整脈が疑われる者	
眼底検査	当該年度の特定健康診査の結果等において、血圧または血糖が、次の基準に該当した者	
	血 圧	収縮期 140mmHg 以上、または拡張期 90mmHg 以上
	血 糖	空腹時血糖値が 126mg/dl 以上、HbA1c（NGSP 値）6.5%以上、または随時血糖値が 126mg/dl 以上
ただし、当該年度の特定健康診査の結果等において、血圧の基準に該当せず、かつ血糖検査の結果について確認することができない場合においては、前年度の特定健康診査の結果等において、血糖検査の基準に該当する者を含む		

（５）委託の有無

集団健診及び個別健診とも外部委託により実施します。契約の形式は、個別契約または集合契約とします。

（６）健診結果

受診者本人に結果を通知します。

（７）情報提供

健診結果の送付時、対象者の方にあわせた次のような情報を提供します。

○健診結果の見方

○健康の保持増進に役立つ情報

(8) 特定健康診査受診者の推計

第3期計画の特定健康診査実施者数・実施率を以下の通り推計します。国の示す参酌標準を目標に2023（平成35）年度の実施率60%を目指します。

特定健康診査実施者数・実施率の推計

単位：人・％

		2018（平成 30）年度	2019（平成 31）年度	2020（平成 32）年度	2021（平成 33）年度	2022（平成 34）年度	2023（平成 35）年度
40～64 歳	人数	1,495	1,499	1,667	1,681	1,910	2,188
65～74 歳	人数	1,653	1,652	1,837	1,787	1,865	1,887
合 計	人数	3,148	3,151	3,504	3,468	3,775	4,075
	実施率	45.0	45.0	50.0	50.0	55.0	60.0

2. 特定保健指導の実施

(1) 対象者

特定保健指導（積極的支援・動機づけ支援）の対象者は、特定健康診査の結果に基づいて、下記の手順で選定します。

ステップ 1				ステップ 2	
A	腹囲	男性	85cm以上	①	空腹時血糖値 100mg/dl 以上、または、HbA1c5.6%以上
		女性	90cm以上		
B	腹囲	男性	85cm未満	②	中性脂肪 150mg/dl 以上、または、HDL（善玉）コレステロール 40mg/dl 未満
		女性	90cm未満		
	かつBMIが25以上の人			③	収縮期血圧 130mmHg 以上、または、拡張期血圧 85mmHg 以上
C	AにもBにもあてはまらない人			④	現在たばこを習慣的に吸っていて、①～③の項目に1つでも該当している

ステップ 3		ステップ 2 （健診結果）			
		3つ以上 あてはまる	2つ あてはまる	1つ あてはまる	あてはまる 項目なし
ステップ 1 （腹囲）	A	積極的支援	積極的支援	動機づけ支援	情報提供
	B		動機づけ支援		
	C				

ステップ1とステップ2の結果を表にあてはめます。

※65歳～74歳の方は、積極的支援のグループに該当しても、動機づけ支援となります。

※医療機関で糖尿病・高血圧・脂質異常で投薬治療を受けている方は、特定保健指導の対象外になります。

※「情報提供」は、健康診査の受診者全員に行われます。

(2) 実施場所・時期

場所は大泉町保健福祉総合センターで実施します。特定健康診査実施後、6か月間にわたって実施します。

(3) 特定保健指導の案内

対象者ごとに、特定保健指導の案内を郵送し、指導の開始を周知します。

(4) 実施内容

①情報提供

健診結果とともに、健診項目の説明やメタボリックシンドロームに関する情報を提供し、生活習慣病の予防について指導します。

②動機づけ支援

利用者が自ら健康状態を自覚し、生活習慣改善のための自主的な取り組みを継続的に行えるようになることを目的に、保健師または管理栄養士が面接し、生活習慣改善のための行動計画を策定し、実施する支援を行い、必要に応じて行動計画の策定から6か月経過する前に評価時期を設定して、動機づけ支援対象者が自ら評価するとともに、行動計画策定から6か月後に医師、保健師または栄養士による評価を行います。

《具体的な内容》

項 目	方 法	指 導 内 容
初回面接	一人20分以上の個別面接または1グループ(8名以内) 80分以上のグループ面接	○生活習慣と健診結果の関係の理解や生活習慣の振り返り、メタボリックシンドロームや生活習慣病に関する知識と対象者の方の生活が及ぼす影響及び生活習慣の改善の必要性の説明 ○生活習慣を改善するメリット及び現在の生活を継続することのデメリットの説明 ○体重・腹囲の測定方法や栄養・運動等の生活習慣の改善に必要な目安等を具体的に支援 ○対象者の方の行動目標や評価時期の設定と必要な社会資源等の活用を支援
6か月経過する前の評価	自らの評価	○取り組んでいる実践と結果についての評価と再アセスメント
6か月後の評価	個別面接、電話、手紙等	○身体状況や生活習慣に変化がみられたかについて確認

③積極的支援

利用者が自ら健康状態を自覚し、生活習慣改善のための自主的な取り組みを継続的にできるようになることを目的に、保健師または管理栄養士が面接し、生活習慣改善のための行動計画を策定し、対象者が主体的に取り組むことができるよう継続して支援を行うとともに、計画の進捗状況評価と実績評価を行います。

《具体的な内容》

項 目	方 法	指 導 内 容
初回面接	一人 20 分以上の個別面接または 1 グループ（8 名以内） 80 分以上のグループ面接	○生活習慣と健診結果の関係の理解や生活習慣の振り返り、メタボリックシンドロームや生活習慣病に関する知識と対象者の方の生活が及ぼす影響及び生活習慣の改善の必要性の説明 ○生活習慣を改善するメリット及び現在の生活を継続することのデメリットの説明 ○体重・腹囲の測定方法や栄養・運動等の生活習慣の改善に必要な目安等を具体的に支援 ○対象者の方の行動目標や評価時期の設定と必要な社会資源等の活用を支援
3 か月以上の継続的な支援及び 中間評価	個別面接、グループ面接、電話、手紙等	○初回面接以降の生活習慣の状況を確認 ○栄養・運動等の生活習慣の改善に必要な支援をする とともに必要に応じて行動維持の推奨 ○3 か月経過した時点で取り組んでいる実践と結果についての評価と再アセスメント、必要に応じて改めて行動目標や計画の設定
6 か月後の評価	個別面接、グループ面接、電話、手紙等	○身体状況や生活習慣に変化がみられたかについて確認

（５）委託の有無

特定保健指導については、外部委託します。

(6) 特定保健指導対象者数・実施者数の推計

①特定保健指導の対象者

特定保健指導の対象者を以下の通り推計します。

特定保健指導対象者数の推計

単位：人

		2018（平成 30）年度	2019（平成 31）年度	2020（平成 32）年度	2021（平成 33）年度	2022（平成 34）年度	2023（平成 35）年度
動機づけ 支援	40～64 歳	62	60	65	63	66	69
	65～74 歳	178	173	187	179	189	197
	合 計	240	233	252	242	255	266
積極的 支援	40～64 歳	91	88	95	91	96	101
	合 計	91	88	95	91	96	101
合 計	40～64 歳	153	148	160	154	162	170
	65～74 歳	178	173	187	179	189	197
	合 計	331	321	347	333	351	367

②特定保健指導の実施者・実施率

特定保健指導実施者・実施率を以下の通り推計します。実施率は国の示す参酌標準を目標に、2023（平成 35）年度の実施率 60%を目指します。

特定保健指導実施者数・実施率の推計

単位：人・%

		2018（平成 30）年度	2019（平成 31）年度	2020（平成 32）年度	2021（平成 33）年度	2022（平成 34）年度	2023（平成 35）年度
動機づけ 支援	40～64 歳	9	12	20	25	33	41
	65～74 歳	27	34	56	72	95	118
	合 計	36	46	76	97	128	159
積極的 支援	40～64 歳	14	18	29	36	48	61
	合 計	14	18	29	36	48	61
合 計	40～64 歳	23	30	49	61	81	102
	65～74 歳	27	34	56	72	95	118
	合 計	50	64	105	133	176	220
実施率		15.0	20.0	30.0	40.0	50.0	60.0

3. 実施スケジュール

特定健康診査・特定保健指導の実施については、以下の通りとします。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
集団健診	受診票の発送		◎										
	健診受診期間												
	保健指導対象者の選定及び通知					◆動機づけ支援 ◆積極的支援					◆動機づけ支援 ◆積極的支援		
	動機づけ支援実施期間												
	積極的支援実施期間												
個別健診	受診票の発送		◎										
	健診受診期間												
	保健指導対象者の選定及び通知						◆動機づけ支援						
	動機づけ支援実施期間												

第4章 目標実現のための施策の実施

1. メタボリックシンドローム予防知識の普及啓発

(1) 適正な食事摂取のための知識の普及

日常の保健事業、広報紙やポスター、ホームページ、食生活改善推進活動、保健福祉まつりなどを通じて、メタボリックシンドローム予防のための知識の普及・啓発に努めます。

(2) 運動に関する知識や方法の普及

日常の保健事業、広報紙やポスター、ホームページなどで、運動に関する正しい知識を普及するとともに、地域でのグループ活動の支援などを行います。

2. 受診勧奨の推進

(1) 案内の充実

町ホームページ、広報紙等の広報媒体、さまざまな事業実施の機会を活用しPRを行い、受診勧奨を行います。

町内の外国人に対し、大泉町多文化共生コミュニティセンターの活用や、外国人向けの広報紙などにより、受診勧奨を推進します。

(2) かかりつけ医との連携

特定健康診査を受けていない被保険者に対する受診勧奨など、協力体制づくりを進めます。

(3) 個別の受診勧奨

複数年にわたる未受診者について、個別の受診勧奨の実施に努めます。

(4) 特定健康診査・特定保健指導の効果のPR

特定健康診査・特定保健指導で効果があった事例を、広報紙やポスター、ホームページなどを通じて積極的にPRし、受診を促します。

3. 受けやすい特定健康診査・特定保健指導の仕組みづくり

(1) 受診環境の改善

対象者が受けやすいように日程・会場・方法など、よりよい受診環境に配慮します。

(2) がん検診等との連携

町で実施する各種がん検診等と連携し、町民の利便性を考慮しながら実施します。

(3) 事業主健診等との連携

事業主健診等他の健診を受診した被保険者の健診データを収集する体制をつくり、特定健康診査のデータとして整理・保管します。必要な人には特定保健指導の受診勧奨を行うなど活用します。

4. 特定健康診査結果の通知と活用の促進

(1) わかりやすい結果の通知

被保険者が自らの健康状態を正しく把握するとともに、健康維持に必要なことを理解し、実践できるよう、わかりやすい特定健康診査の結果通知に配慮します。

(2) データファイリングの促進

被保険者が自らの健康の変化を通覧するとともに、医療受診の資料としても活用できるように、特定健康診査のファイリングを促進します。

(3) 特定保健指導等にデータの活用

個人別・経年別等に整理・保管し、個々の保健指導に役立てるほか、個人の長期的な経年変化をたどることによる疫学的な分析・経年変化に基づく発症時期の予測による保健指導や受診勧奨等の重点化等に活用します。

5. 代行機関の利用

円滑な事業運営のために、群馬県国民健康保険団体連合会へ決済やデータ管理業務等を委託します。

第5章 特定健康診査等の記録の管理・保存

1. 記録の管理・保存

特定健康診査に関するデータは、群馬県国民健康保険団体連合会へ管理・保存を委託します。その保存期間は、5年間とします。

2. 個人情報の保護

特定健康診査及び特定保健指導で得られる健康情報等の取り扱いについては、個人情報の保護に関する法律及びこれに基づくガイドライン、大泉町個人情報保護条例等に基づき、漏洩防止に細心の注意を払います。

また、特定健康診査及び特定保健指導を受託した事業者についても、同様の取り扱いとし、業務によって知り得た情報については、業務終了後も含めて守秘義務を徹底します。さらに、個人情報の管理、書類紛失・盗難等にも十分留意するものとし、これらを取り扱う者に対して、その内容の周知を図ります。

第6章 特定健康診査等実施計画の公表、 評価及び見直し

1. 特定健康診査等実施計画の公表・周知

この計画を町広報紙・ホームページ等で公表し、内容の周知を図ります。

2. 特定健康診査等実施計画の評価・見直し

この計画に基づく実施状況については、大泉町国民健康保険運営協議会で評価検討の上、必要があれば見直しを行います。

資 料 編

(※表・グラフ中の「市町村計」は、群馬県の市町村の計の平均です。)

医療費分析の結果

1. 国民健康保険医療費分析の目的

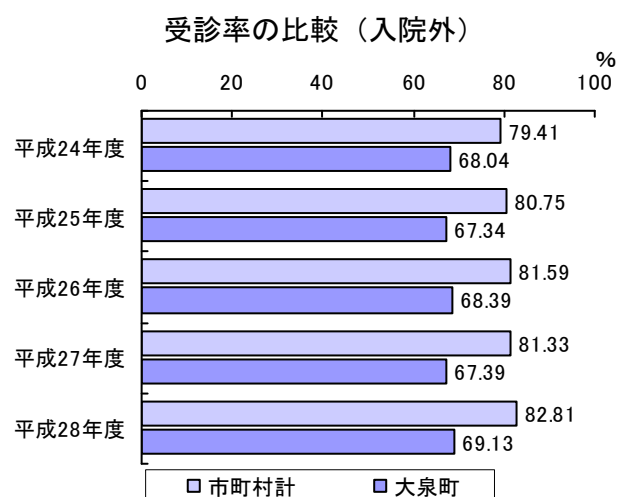
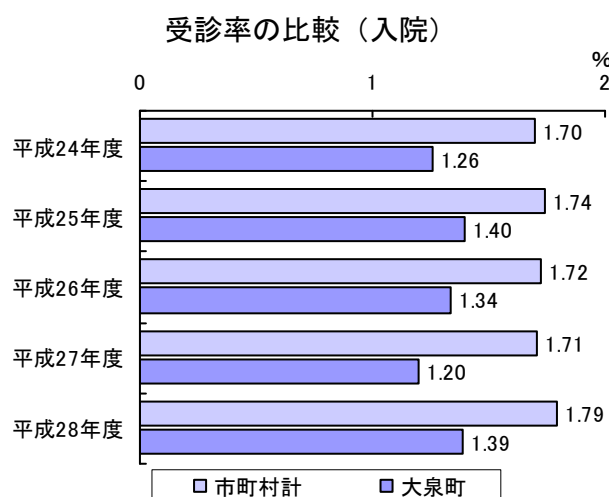
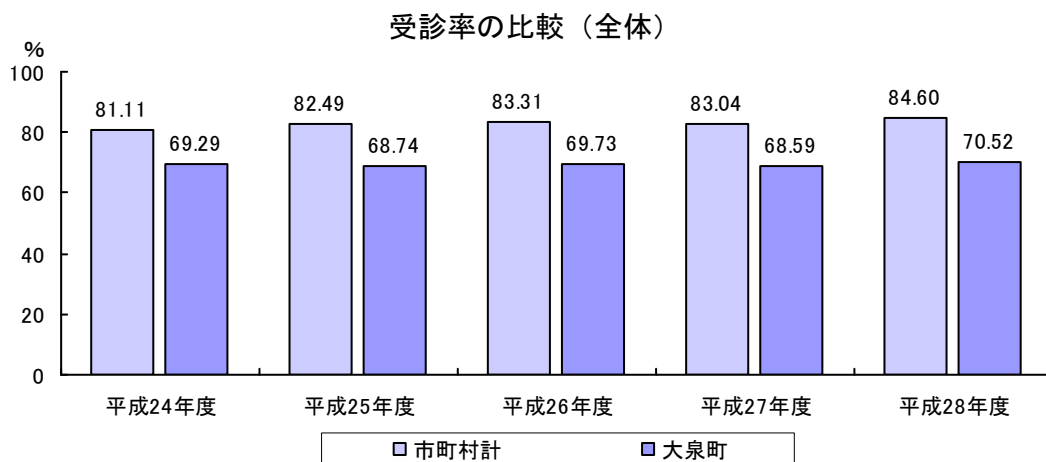
本町の国保医療費を分析することで、医療費の推移や、生活習慣病の割合、年齢層の分析等により、第3期計画策定の資料としました。

2. 医療費諸率（入院・入院外）

（1）受診率の比較

		受診率				
		単位：％				
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
入院	市町村計	1.70	1.74	1.72	1.71	1.79
	大泉町	1.26	1.40	1.34	1.20	1.39
入院外	市町村計	79.41	80.75	81.59	81.33	82.81
	大泉町	68.04	67.34	68.39	67.39	69.13
合計	市町村計	81.11	82.49	83.31	83.04	84.60
	大泉町	69.29	68.74	69.73	68.59	70.52

資料：国保連合会 疾病分類統計表（各年度5月診療分）



(2) 1件当たり費用額

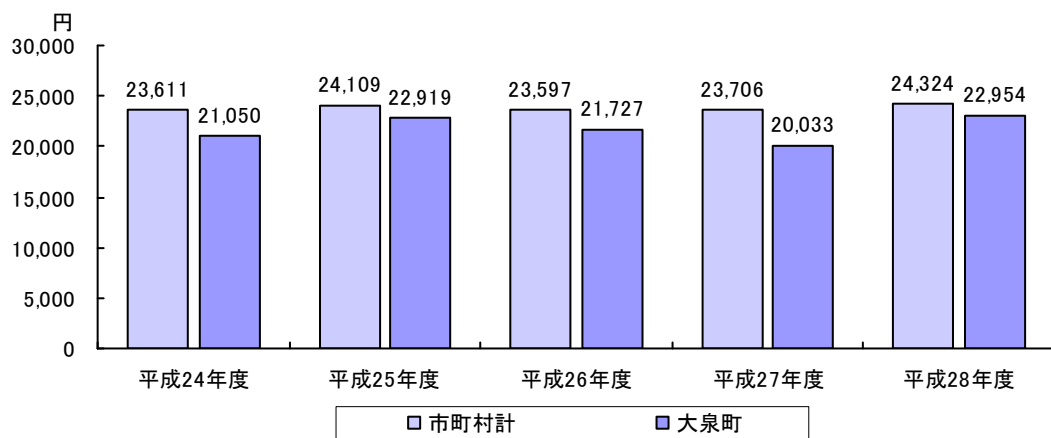
1件当たり費用額

単位:円

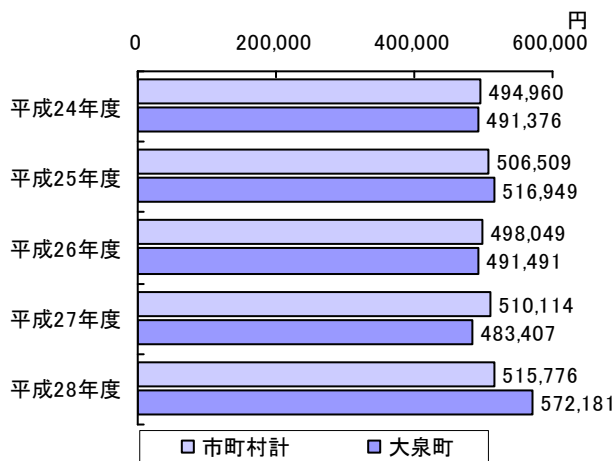
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
入院	市町村計	494,960	506,509	498,049	510,114	515,776
	大泉町	491,376	516,949	491,491	483,407	572,181
入院外	市町村計	13,574	13,796	13,655	13,542	13,769
	大泉町	12,373	12,669	12,530	11,812	11,927
合計	市町村計	23,611	24,109	23,597	23,706	24,324
	大泉町	21,050	22,919	21,727	20,033	22,954

資料:国保連合会 疾病分類統計表(各年度5月診療分)

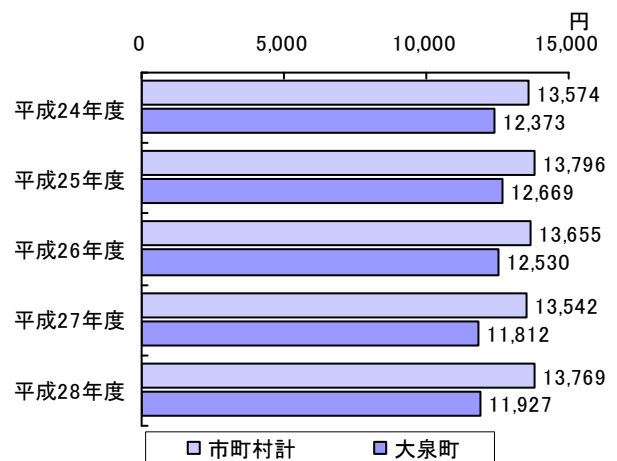
1件当たり費用額の比較(全体)



1件当たり費用額の比較(入院)



1件当たり費用額の比較(入院外)



(3) 1件当たり日数

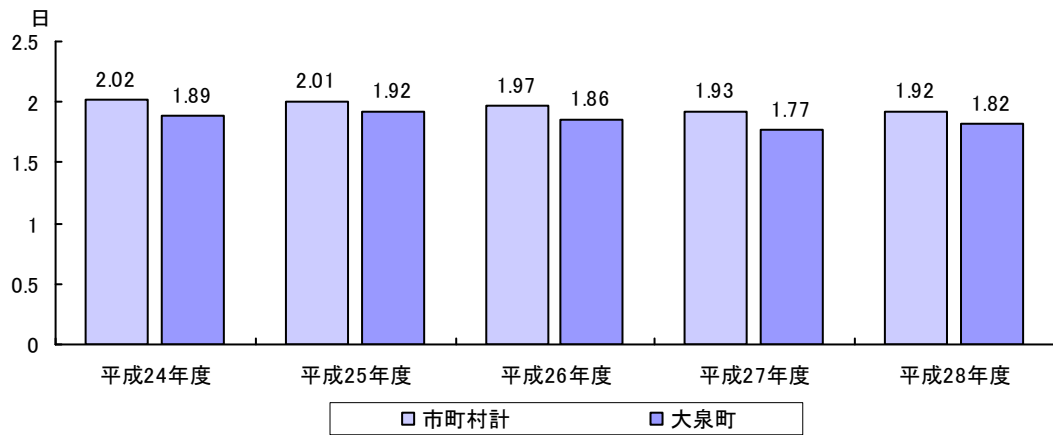
1件当たり日数

単位:日

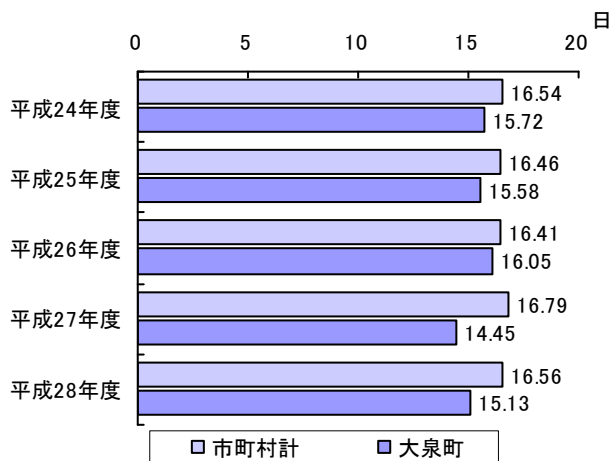
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
入院	市町村計	16.54	16.46	16.41	16.79	16.56
	大泉町	15.72	15.58	16.05	14.45	15.13
入院外	市町村計	1.71	1.70	1.67	1.62	1.61
	大泉町	1.64	1.64	1.58	1.55	1.55
合計	市町村計	2.02	2.01	1.97	1.93	1.92
	大泉町	1.89	1.92	1.86	1.77	1.82

資料: 国保連合会 疾病分類統計表(各年度5月診療分)

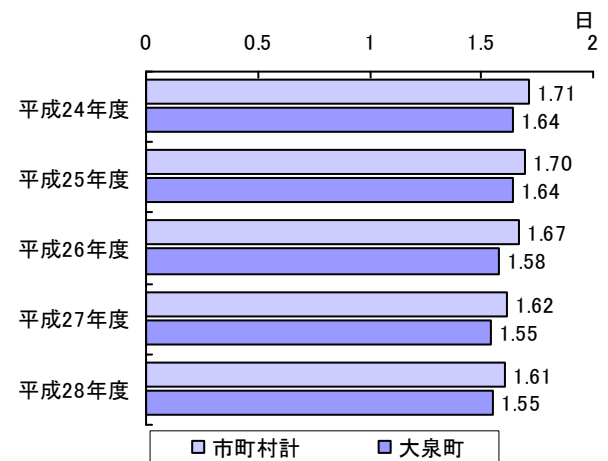
1件当たり日数の比較(全体)



1件当たり日数の比較(入院)



1件当たり日数の比較(入院外)



(4) 1日当たり費用額

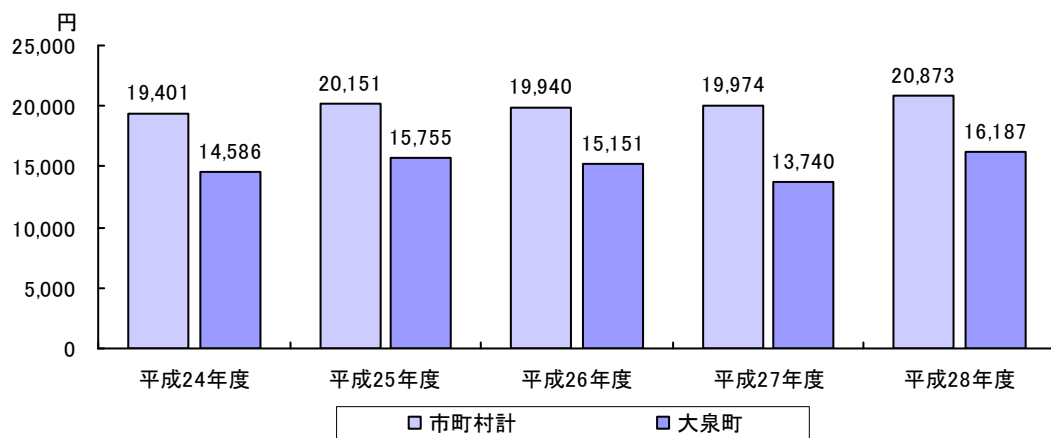
1日当たり費用額

単位:円

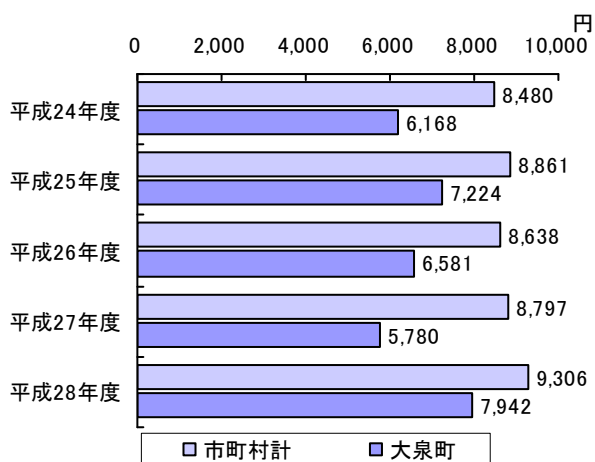
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
入院	市町村計	8,480	8,861	8,638	8,797	9,306
	大泉町	6,168	7,224	6,581	5,780	7,942
入院外	市町村計	10,921	11,290	11,302	11,177	11,568
	大泉町	8,418	8,532	8,570	7,960	8,245
合計	市町村計	19,401	20,151	19,940	19,974	20,873
	大泉町	14,586	15,755	15,151	13,740	16,187

資料:国保連合会 疾病分類統計表(各年度5月診療分)

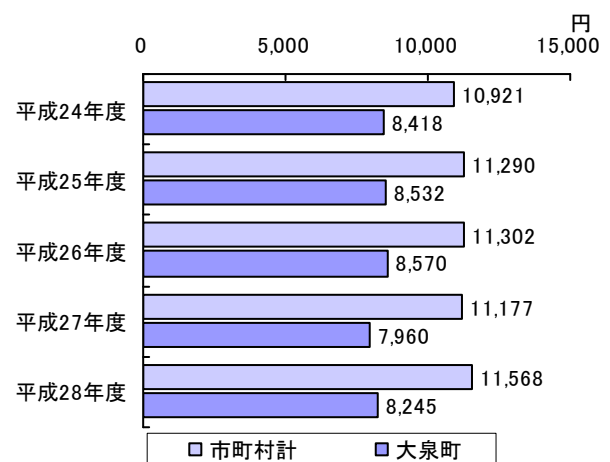
1日当たり費用額の比較(全体)



1日当たり費用額の比較(入院)

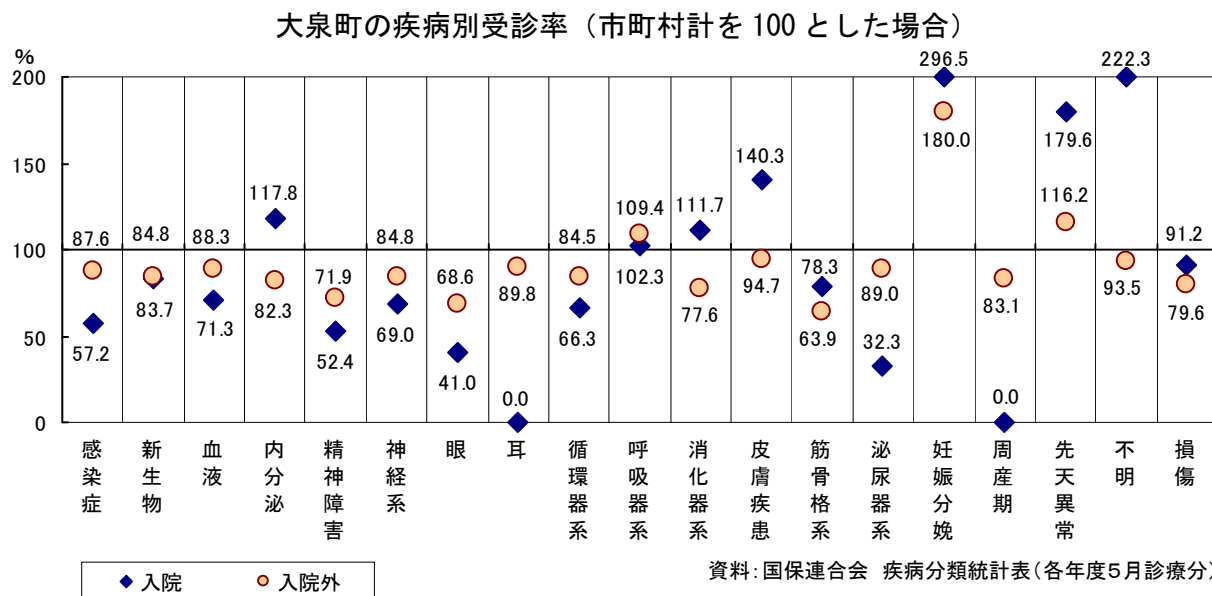


1日当たり費用額の比較(入院外)

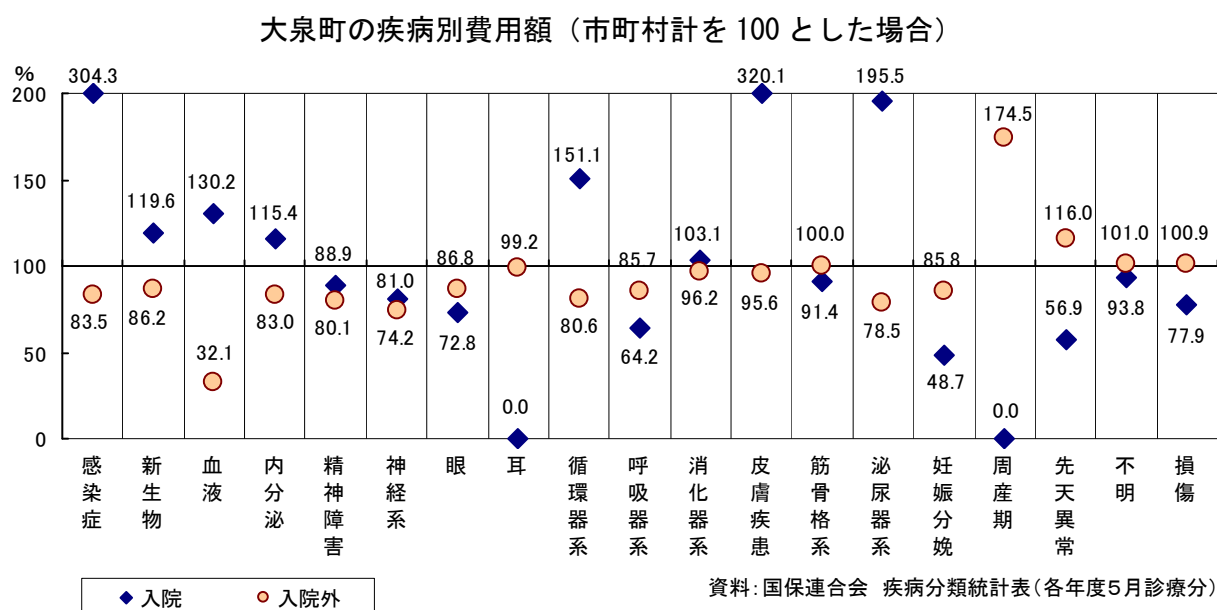


3. 疾病分類別医療費分析

(1) 市町村計を 100 とした場合の疾病別受診率

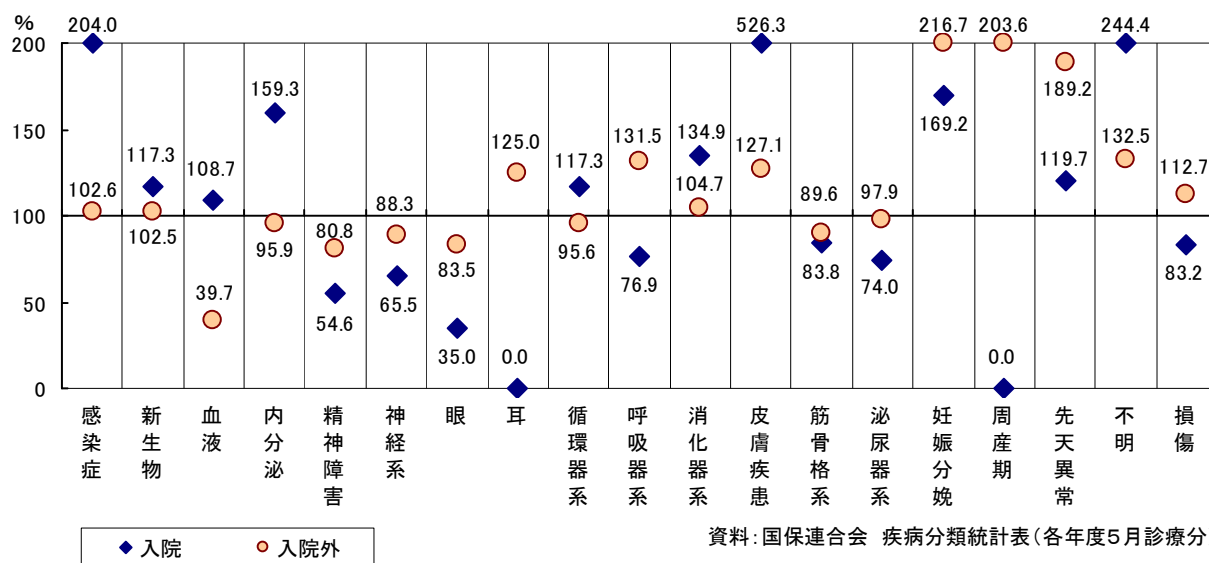


(2) 市町村計を 100 とした場合の疾病別 1 件当たり費用額



(3) 市町村計を 100 とした場合の医療費構成率

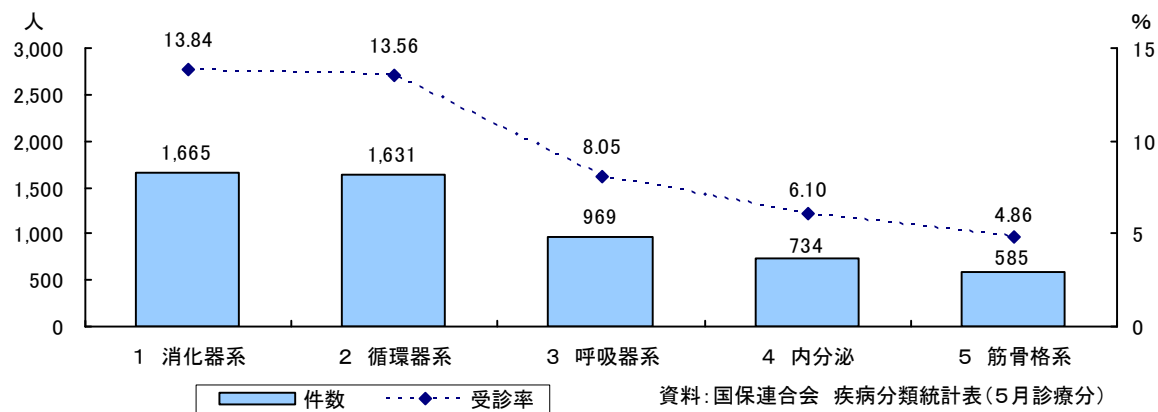
大泉町の医療費構成率（市町村計を 100 とした場合）



4. 年度別受診傾向（上位5疾患）

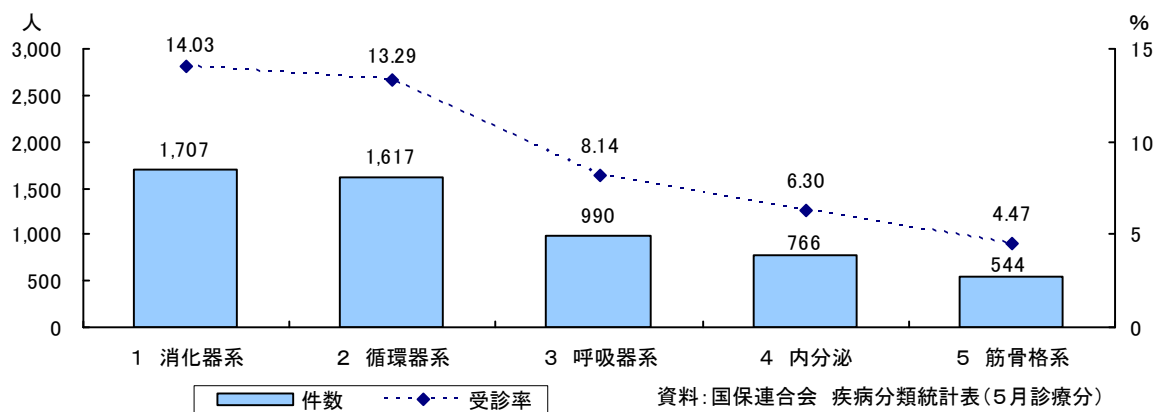
（1）平成24年度

平成24年度受診傾向・上位5疾患（全体）



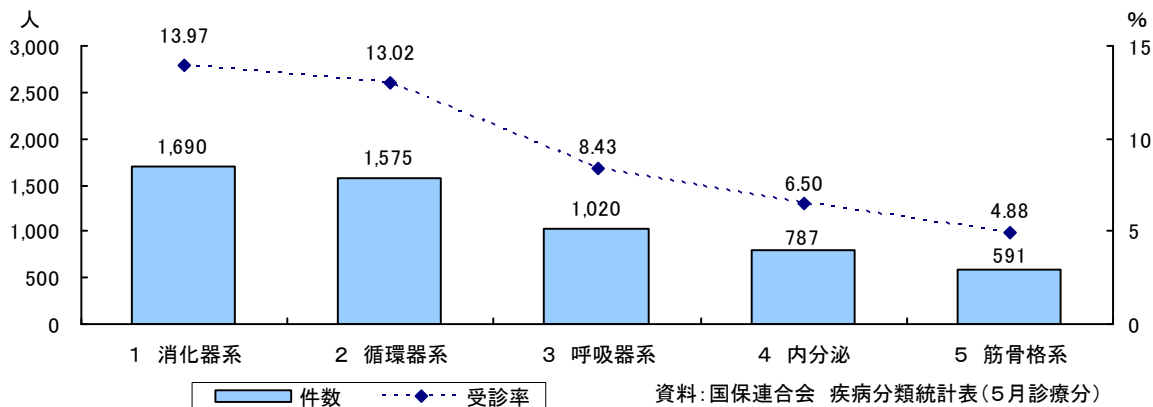
（2）平成25年度

平成25年度受診傾向・上位5疾患（全体）



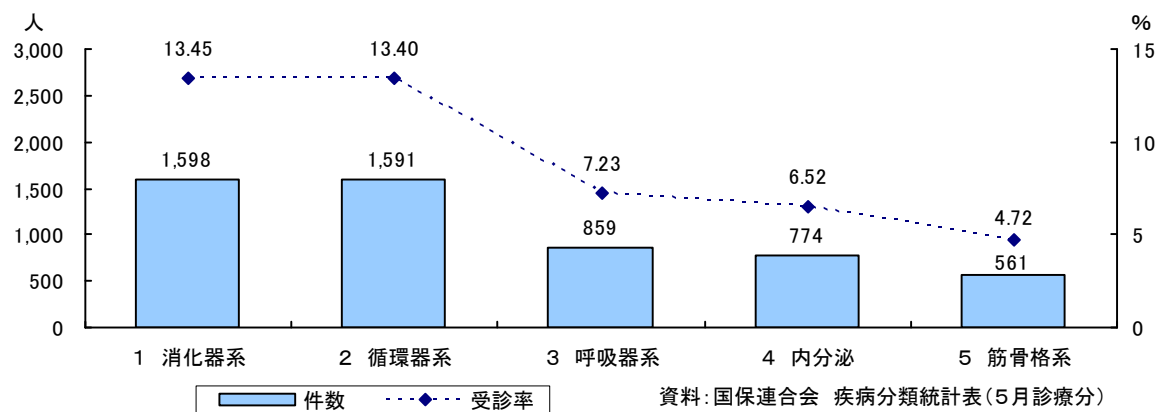
（3）平成26年度

平成26年度受診傾向・上位5疾患（全体）



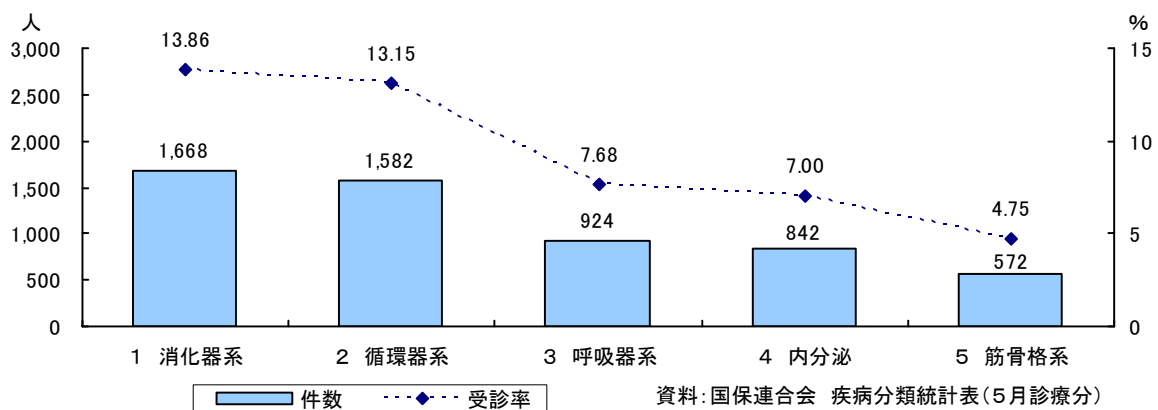
(4) 平成 27 年度

平成 27 年度受診傾向・上位 5 疾患（全体）



(5) 平成 28 年度

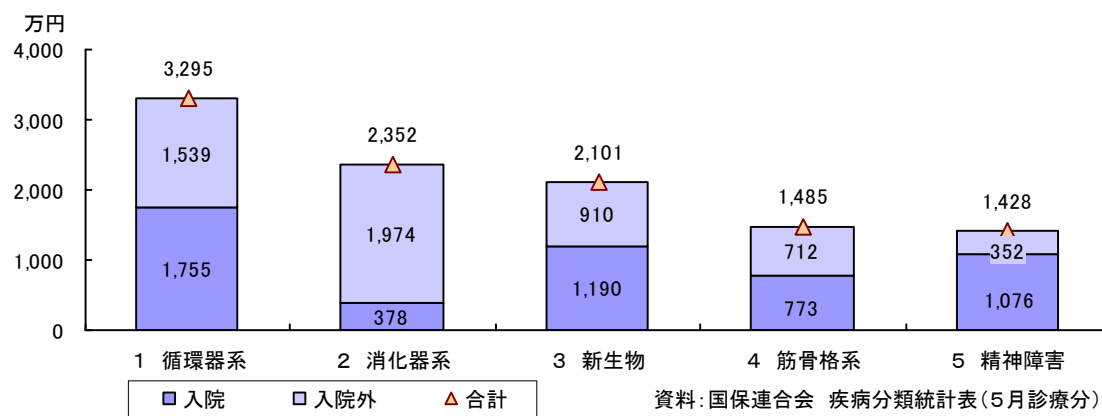
平成 28 年度受診傾向・上位 5 疾患（全体）



5. 年度別医療費動向（上位5疾患）

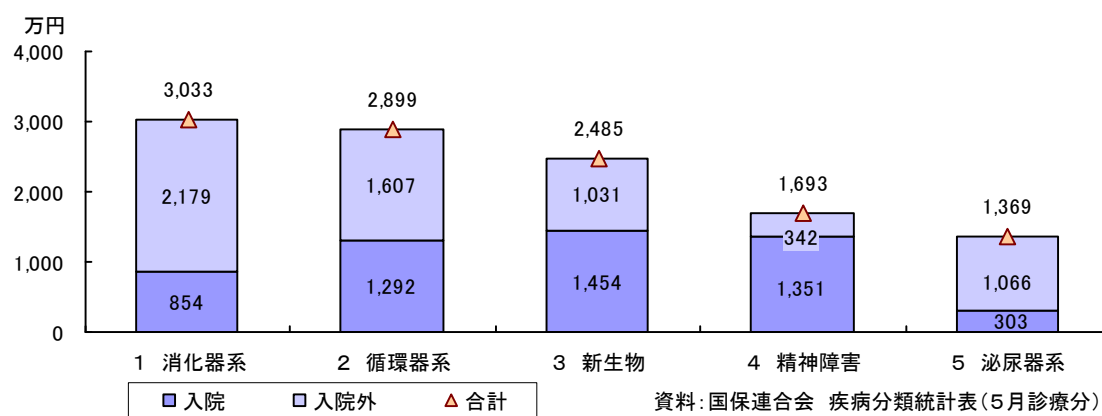
（1）平成24年度

平成24年度医用費の動向・上位5疾患



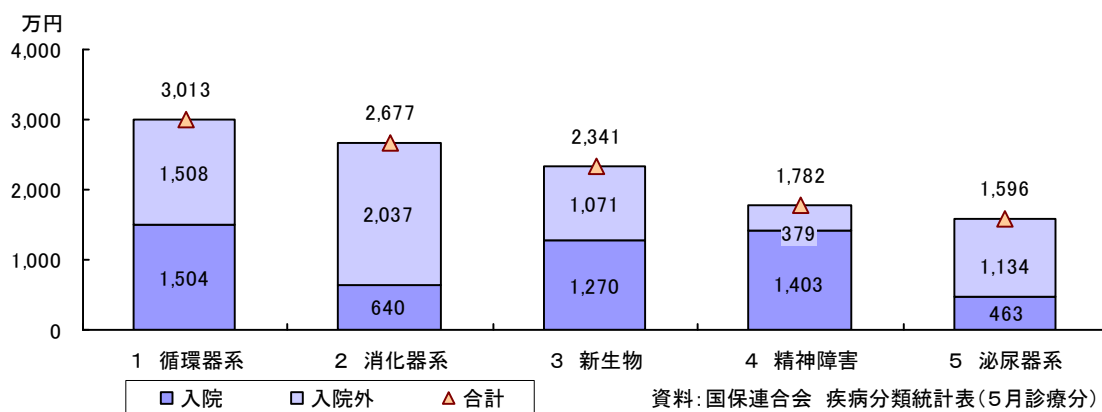
（2）平成25年度

平成25年度医用費の動向・上位5疾患



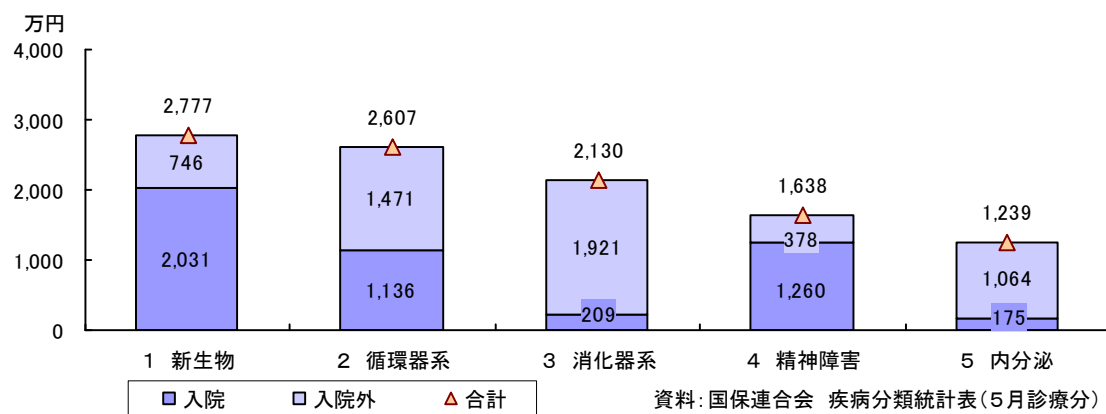
（3）平成26年度

平成26年度医用費の動向・上位5疾患



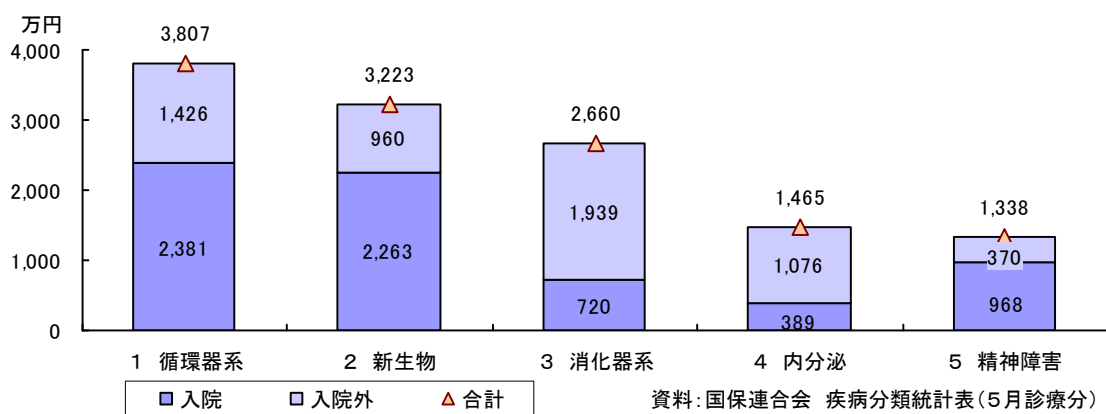
(4) 平成 27 年度

平成 27 年度医用費の動向・上位 5 疾患



(5) 平成 28 年度

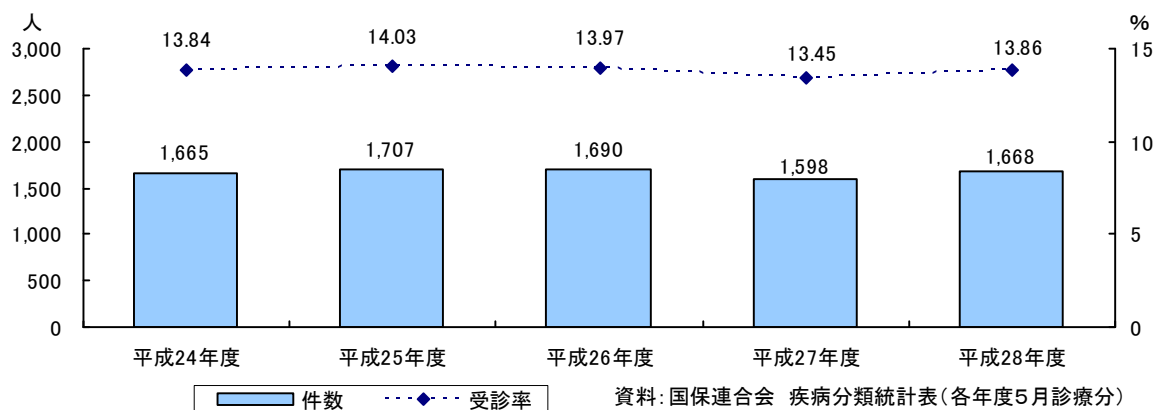
平成 28 年度医用費の動向・上位 5 疾患



6. 疾患別受診傾向の推移（生活習慣病要因を含む上位疾患）

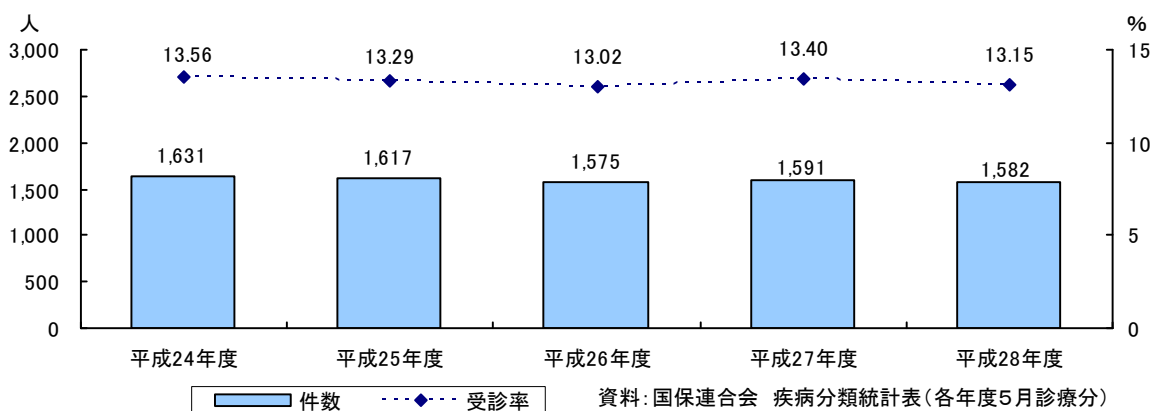
（１）消化器系疾患

消化器系疾患の推移（全体）



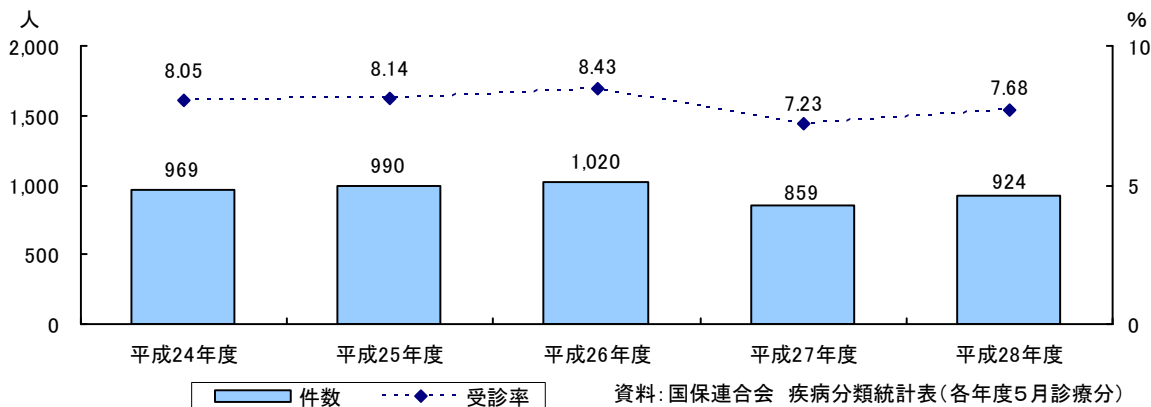
（２）循環器系疾患（生活習慣病要因）

循環器系疾患の推移（全体）



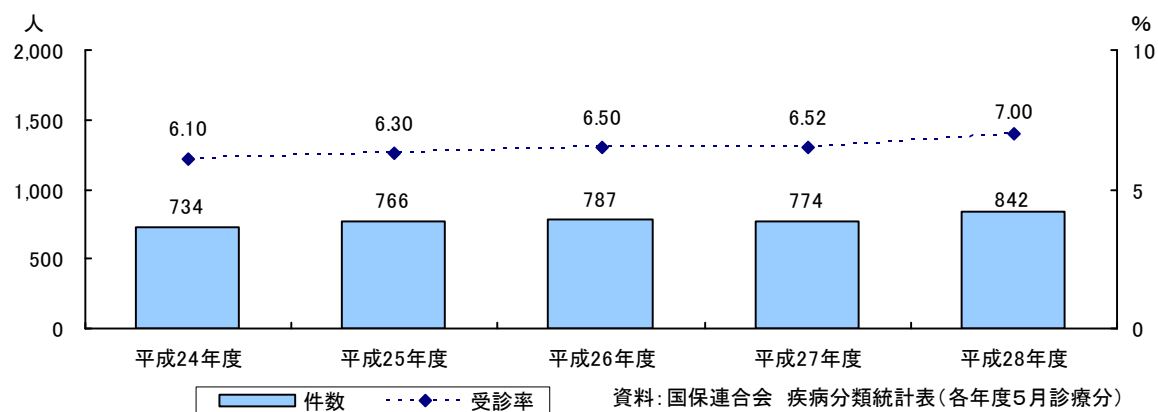
（３）呼吸器系疾患

呼吸器系疾患の推移（全体）



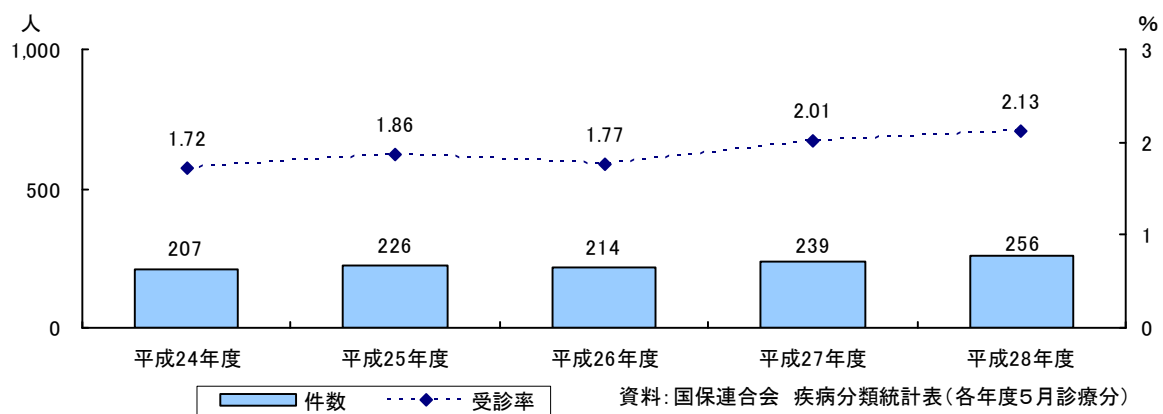
(4) 内分泌・栄養及び代謝疾患（生活習慣病要因）

内分泌・栄養及び代謝疾患の推移（全体）



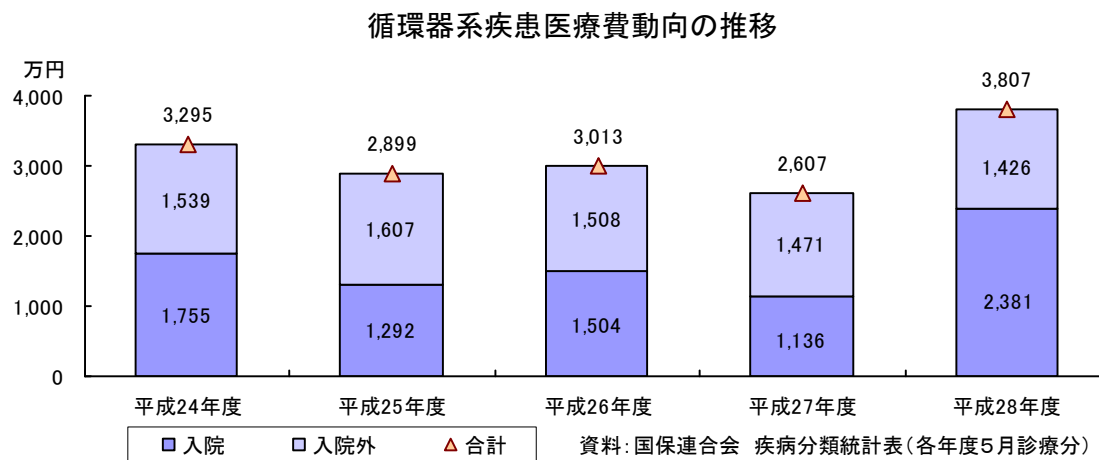
(5) 腎尿路生殖器系疾患（生活習慣病要因）

腎尿路生殖器系疾患の推移（全体）

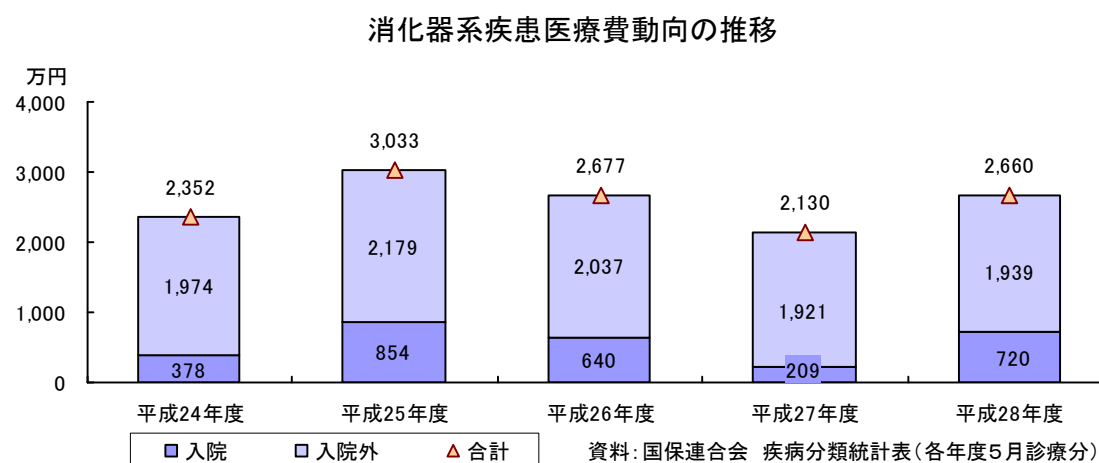


7. 疾患別医療費動向の推移（生活習慣病要因を含む上位疾患）

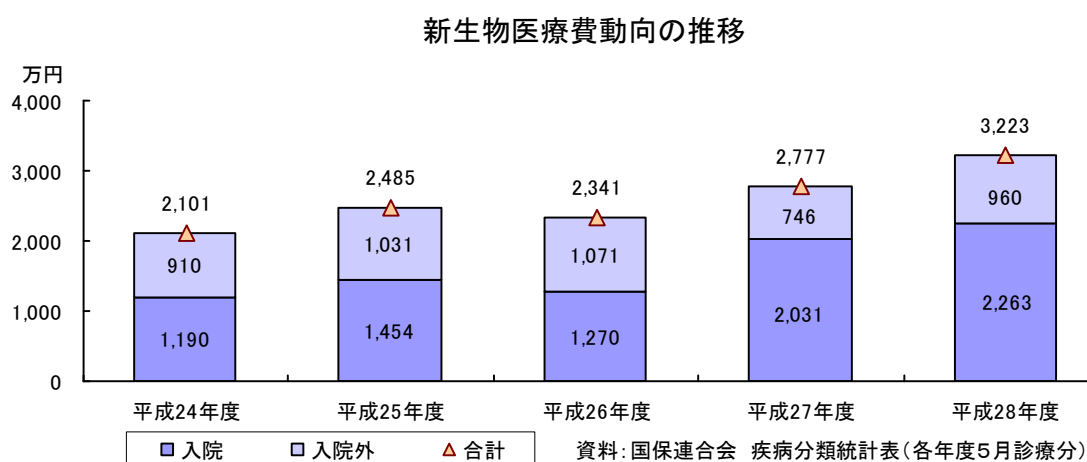
（1）循環器系疾患（生活習慣病要因）



（2）消化器系疾患

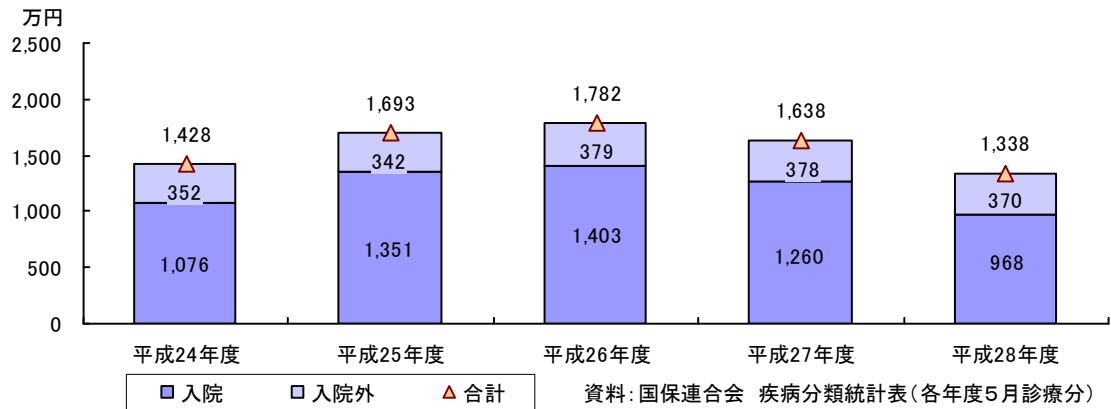


（3）新生物



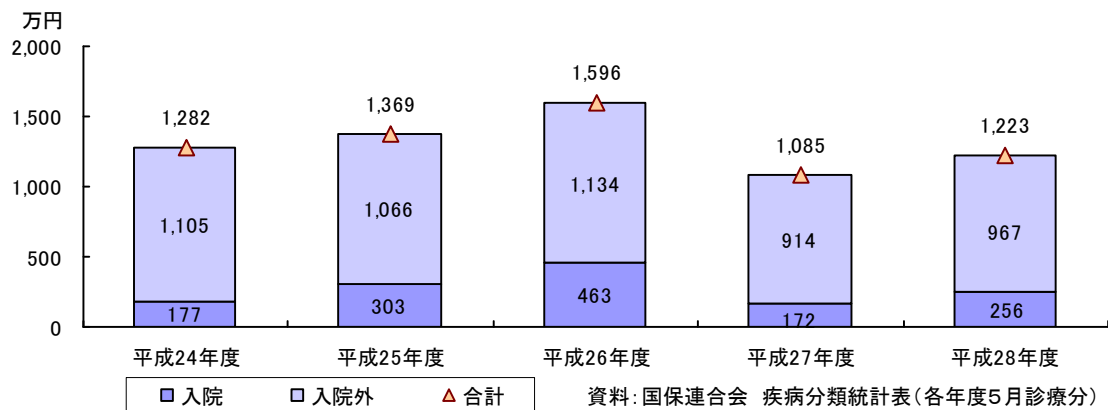
(4) 精神及び行動の障害

精神及び行動の障害医療費動向の推移



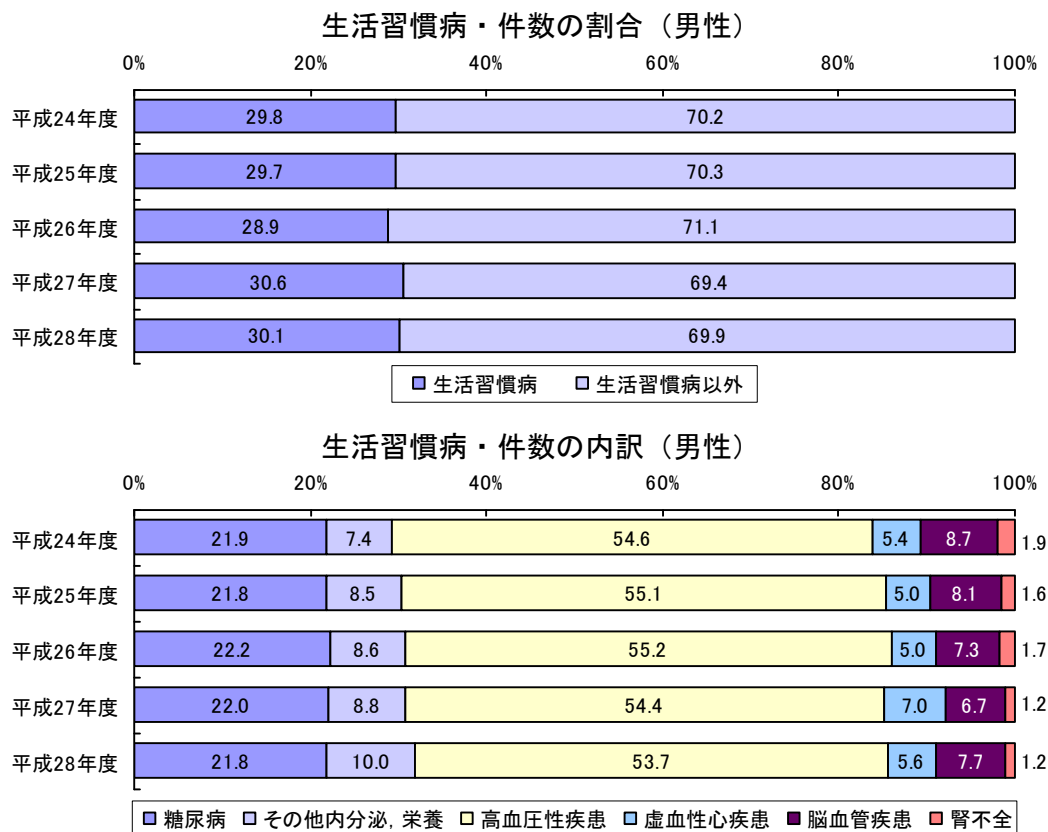
(5) 腎尿路生殖器系疾患(生活習慣病要因)

腎尿路生殖器系疾患医療費動向の推移

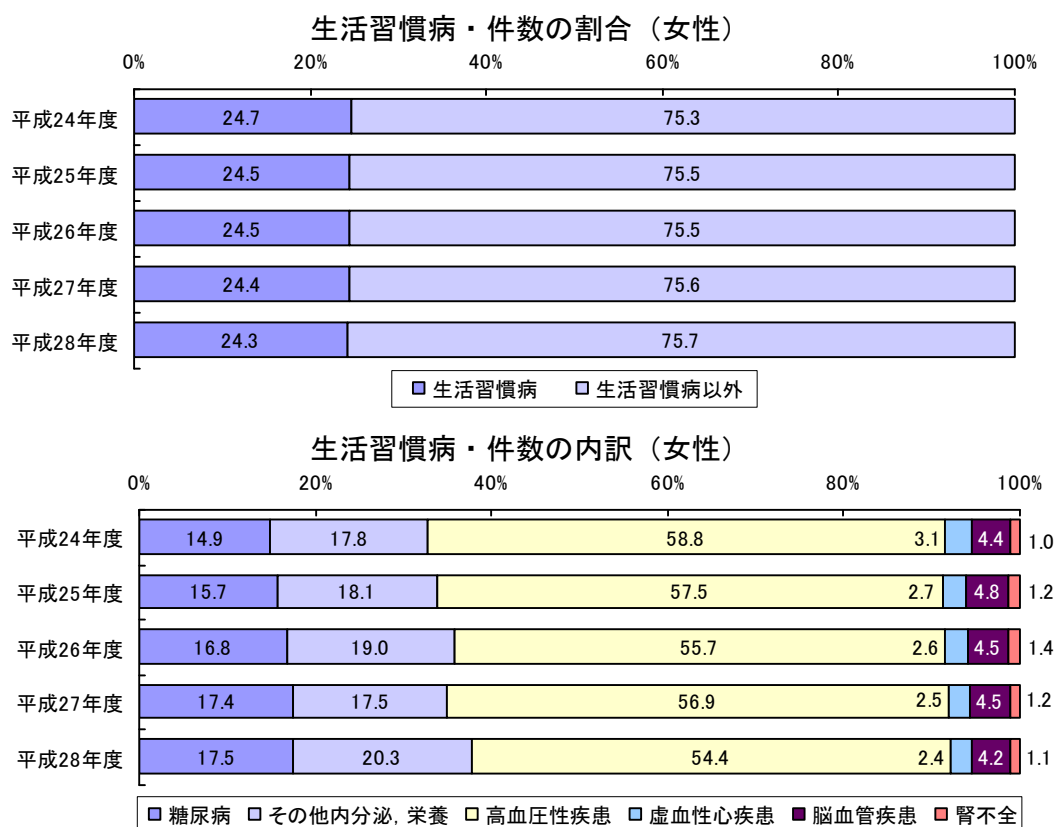


8. 生活習慣病の件数割合と内訳

(1) 生活習慣病の件数割合と内訳（男性）

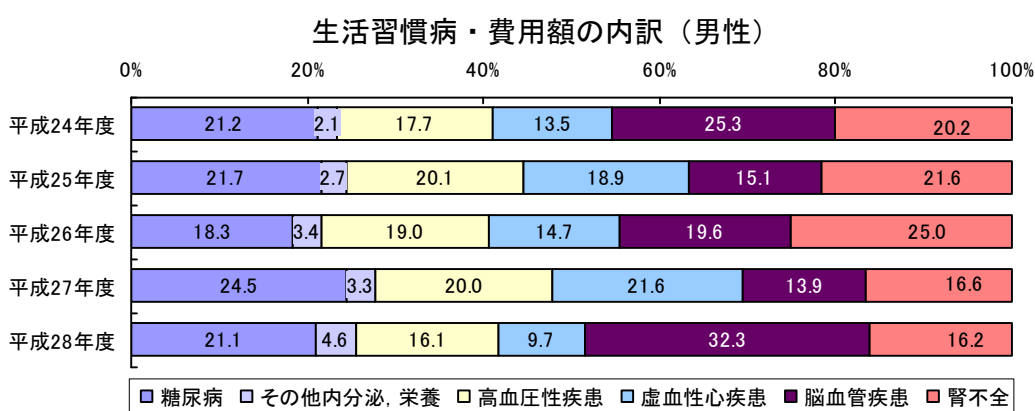
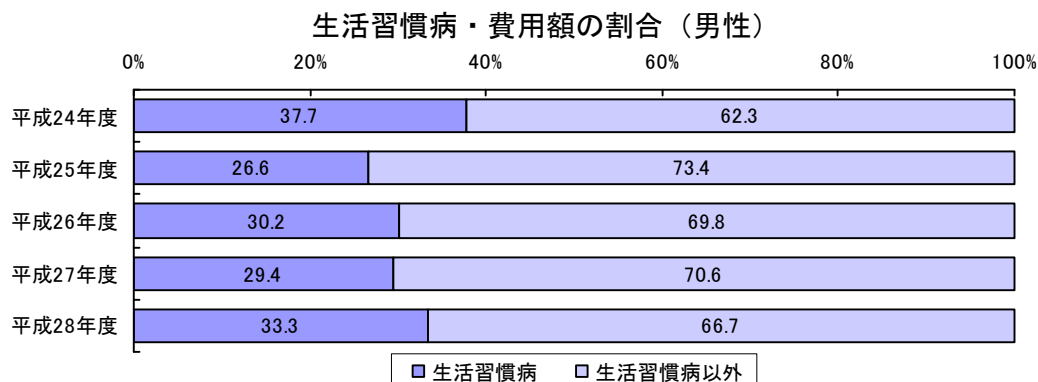


(2) 生活習慣病の件数割合と内訳（女性）



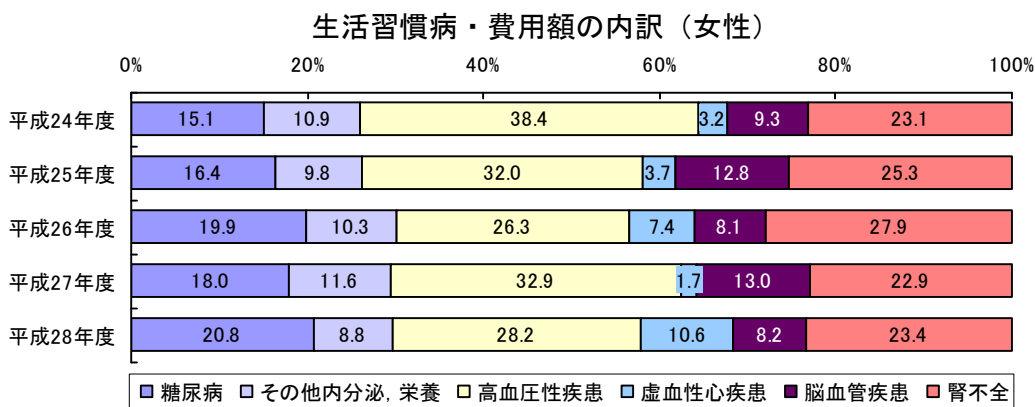
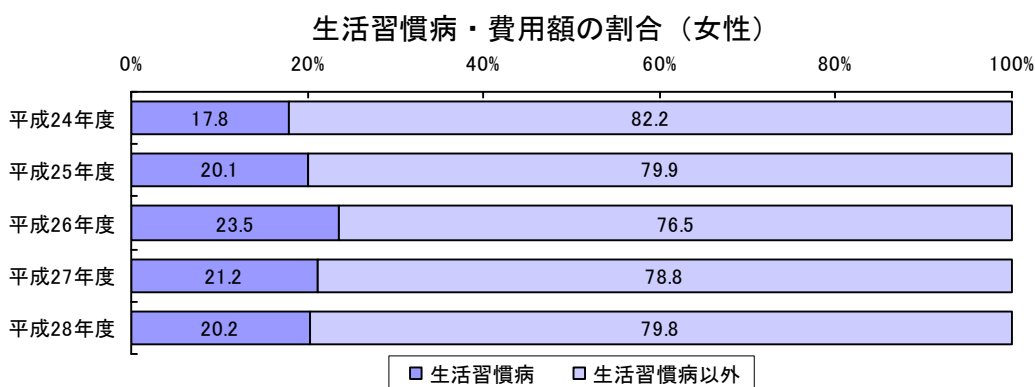
9. 生活習慣病の費用額割合と内訳

(1) 生活習慣病の費用額割合と内訳（男性）



資料：国保連合会 疾病分類統計表（各年度5月診療分）

(2) 生活習慣病の費用額割合と内訳（女性）

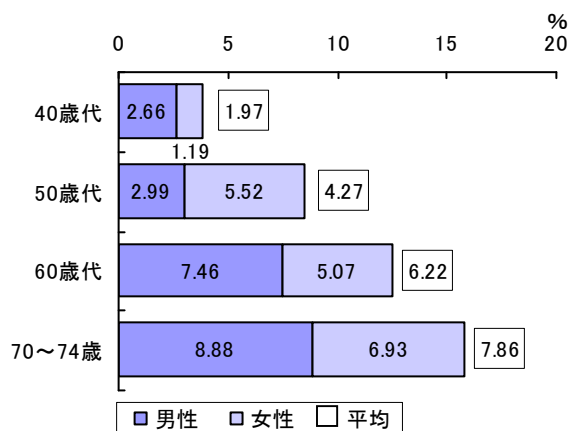


資料：国保連合会 疾病分類統計表（各年度5月診療分）

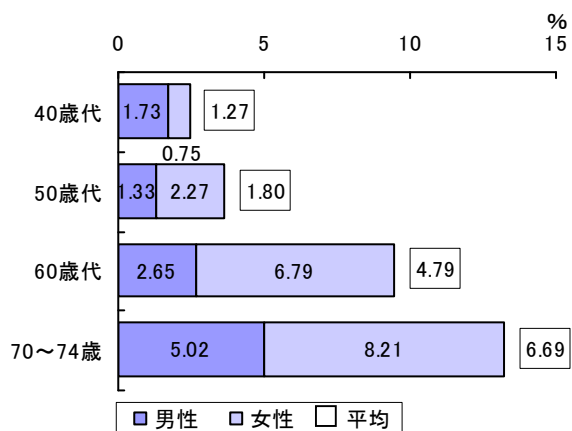
10. 年代別受診率と費用額

(1) 疾病別受診率

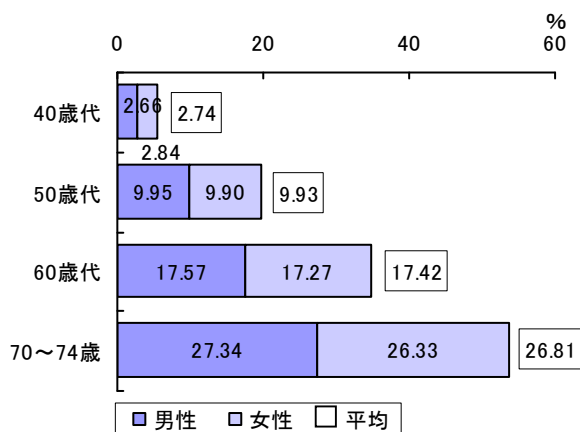
糖尿病・年代別受診率



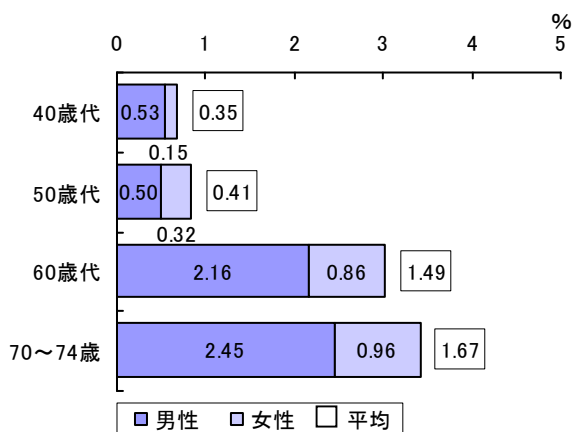
その他内分泌・年代別受診率



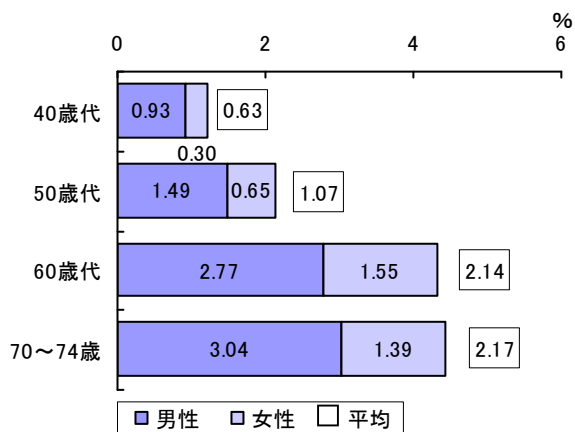
高血圧性疾患・年代別受診率



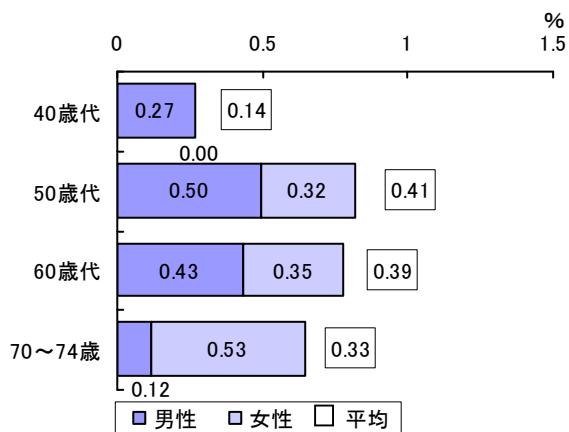
虚血性心疾患・年代別受診率



脳血管疾患・年代別受診率



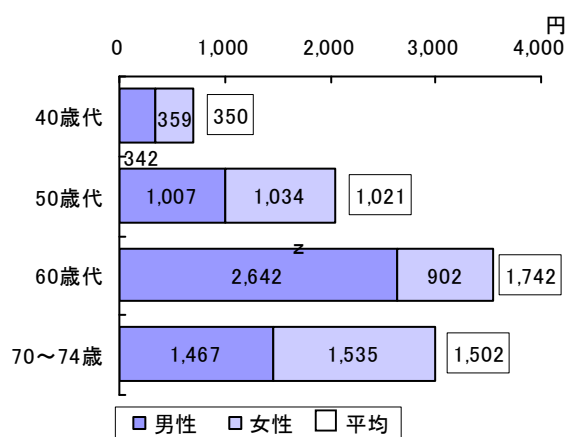
腎不全・年代別受診率



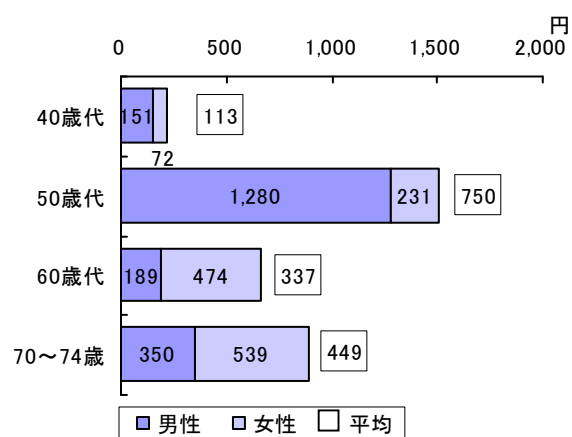
資料: 国保連合会 疾病分類統計表(平成 28 年5月診療分)

(2) 疾病別費用額

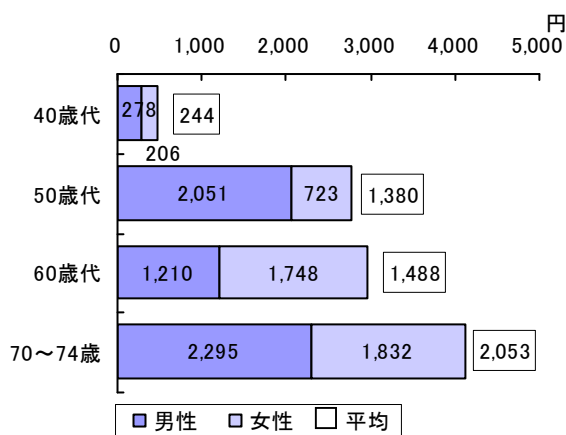
糖尿病・年代別一人当たり医療費



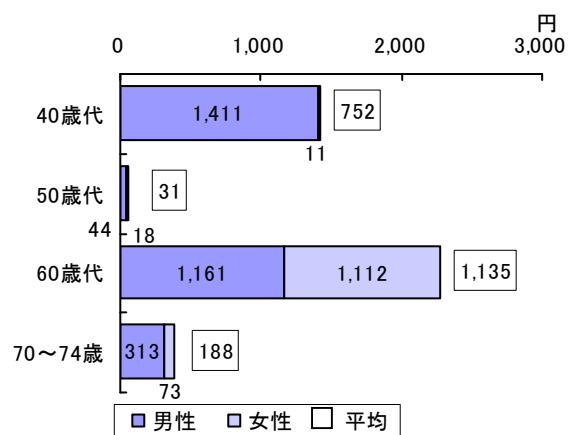
その他内分泌・年代別一人当たり医療費



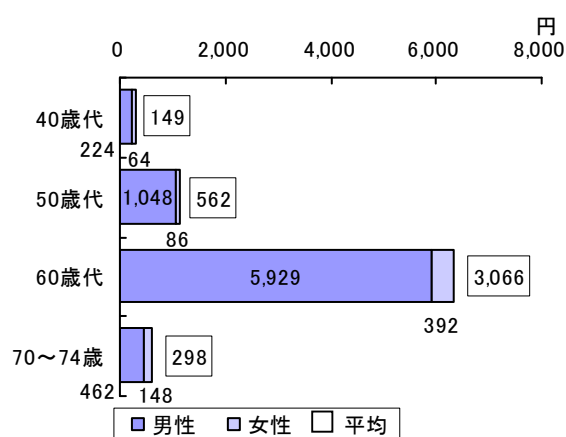
高血圧性疾患・年代別一人当たり医療費



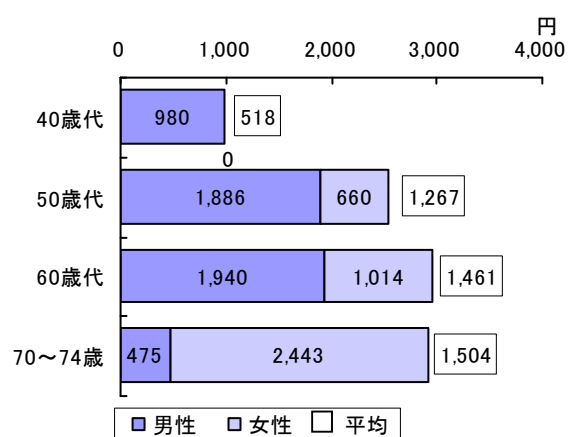
虚血性心疾患・年代別一人当たり医療費



脳血管疾患・年代別一人当たり医療費



腎不全・年代別一人当たり医療費



資料: 国保連合会 疾病分類統計表(平成 28 年5月診療分)

特定健康診査の分析結果

1. 特定健康診査データ分析の目的

特定健康診査等実施計画の見直しにあたり、第2期計画の評価として、特定健康診査の実施状況、特定健康診査有所見者の状況及びメタボリックシンドローム該当者、予備群の状況を把握することにより、第3期計画策定の資料としました。

2. 特定健康診査検査値（平成25年度～平成29年度）

検査項目	有所見判定値
腹囲	男性 85cm以上、女性 90cm以上
中性脂肪	150mg/dl 以上
HDLコレステロール	40mg/dl 未満
血糖	空腹時血糖 100mg/dl 以上、HbA1c 5.2%以上（JDS値）
収縮期血圧	130mmHg 以上
拡張期血圧	85mmHg 以上

3. 特定健康診査の実施状況

（1）特定健康診査有所見者の状況（全体）

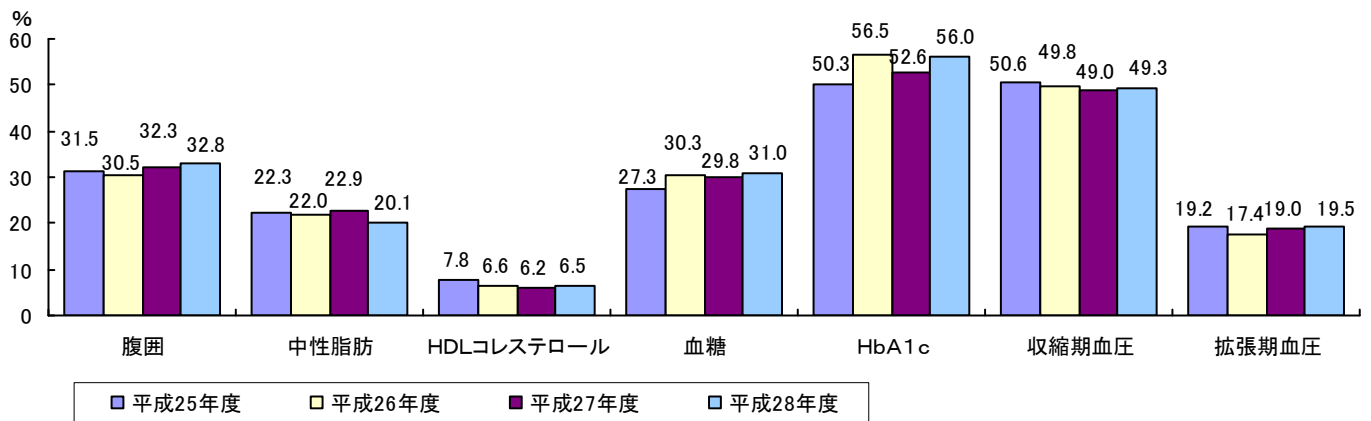
特定健診有所見者の状況

単位：人・%

健診受診者 有所見者	平成25年度				平成26年度				平成27年度				平成28年度			
	2,254				2,271				2,217				2,831			
	男性		女性		男性		女性		男性		女性		男性		女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
腹囲	709(31.5)				693(30.5)				716(32.3)				929(32.8)			
	454	50.1	255	18.9	462	50.1	231	17.1	470	51.2	246	18.9	641	52.3	288	17.9
中性脂肪	502(22.3)				500(22.0)				507(22.9)				569(20.1)			
	250	27.6	252	18.7	272	29.5	228	16.9	282	30.7	225	17.3	318	25.9	251	15.6
HDLコレステロール	176(7.8)				151(6.6)				137(6.2)				185(6.5)			
	124	13.7	52	3.9	112	12.1	39	2.9	101	11.0	36	2.8	140	11.4	45	2.8
血糖	615(27.3)				689(30.3)				661(29.8)				878(31.0)			
	292	32.2	323	24.0	342	37.1	347	25.7	333	36.3	328	25.3	467	38.1	411	25.6
HbA1c	1133(50.3)				1282(56.5)				1166(52.6)				1585(56.0)			
	452	49.9	681	50.5	518	56.1	764	56.7	493	53.7	673	51.8	668	54.5	917	57.1
収縮期血圧	1140(50.6)				1131(49.8)				1087(49.0)				1395(49.3)			
	498	55.0	642	47.6	483	52.3	648	48.1	485	52.8	602	46.3	655	53.4	740	46.1
拡張期血圧	432(19.2)				395(17.4)				421(19.0)				553(19.5)			
	239	26.4	193	14.3	231	25.0	164	12.2	236	25.7	185	14.2	328	26.8	225	14.0

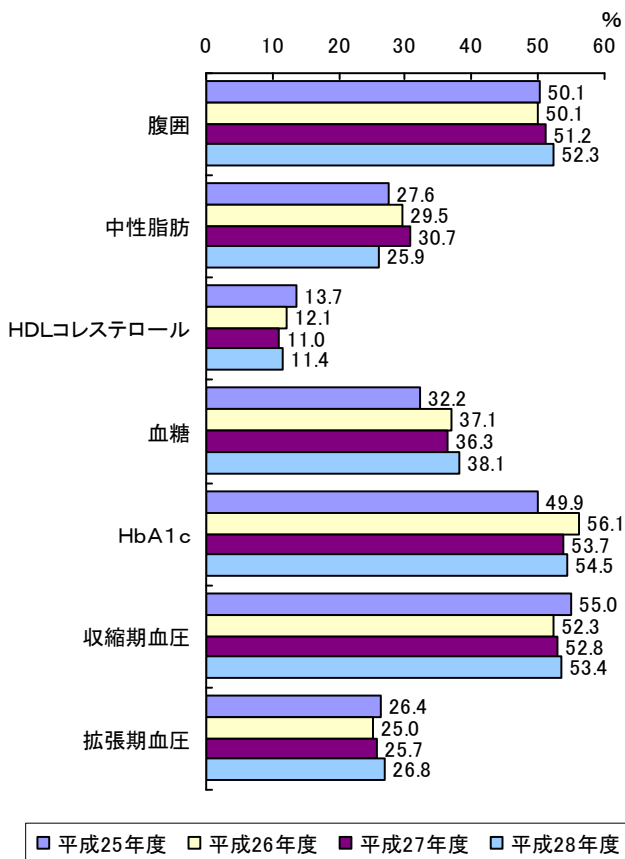
資料：国保連合会 特定健診等データ管理システムより

特定健診有所見者の状況（全体）

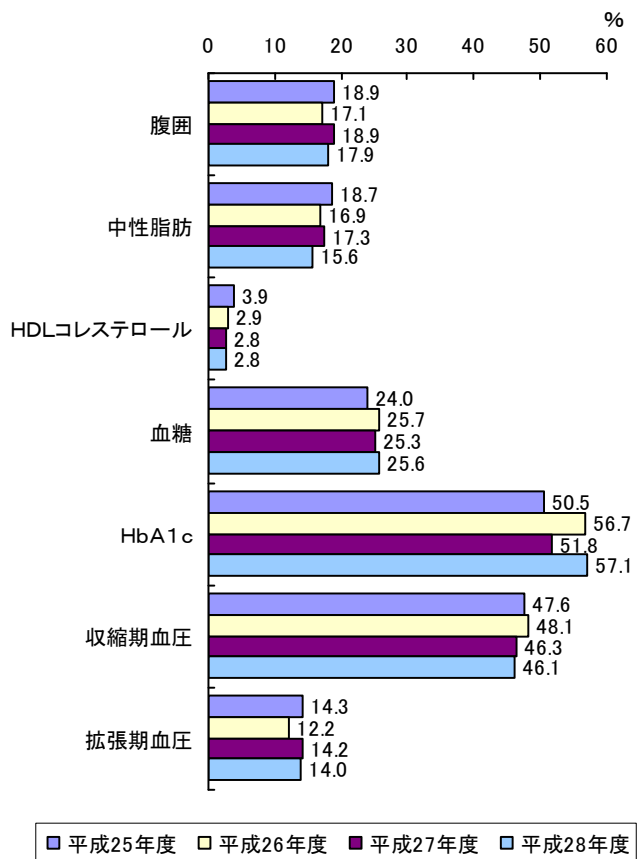


（２）男女別有所見者の状況

特定健診有所見者の状況（男性）



特定健診有所見者の状況（女性）



(3) 健診項目別有所見者の状況（腹囲）

腹囲（摂取エネルギーの過剰）

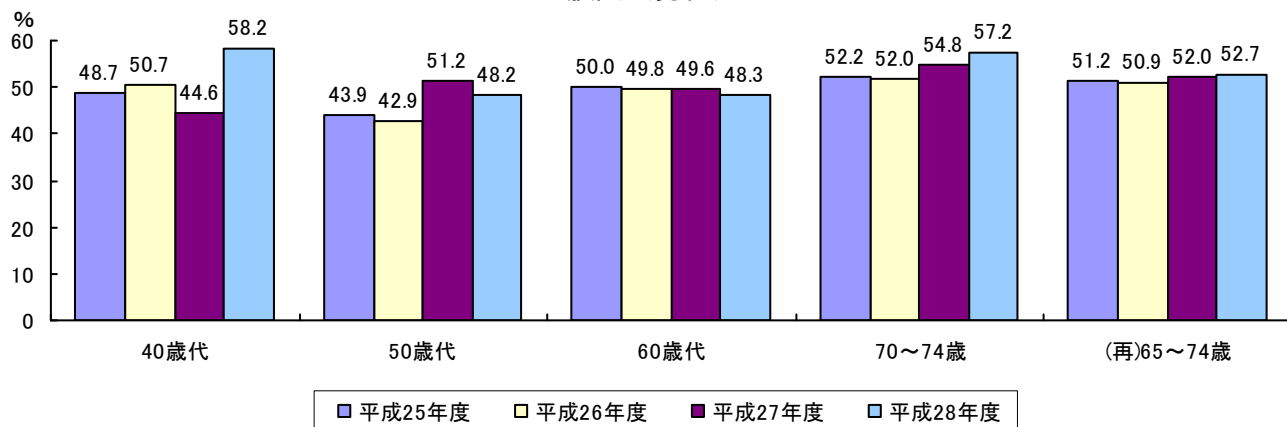
単位：人・％

	平成25年度				平成26年度				平成27年度				平成28年度			
	男性		女性		男性		女性		男性		女性		男性		女性	
健診有所見者	454		255		462		231		470		246		641		288	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
40歳代	38	48.7	11	13.4	38	50.7	7	8.3	37	44.6	14	16.9	57	58.2	24	22.0
50歳代	36	43.9	25	16.8	36	42.9	26	20.0	44	51.2	17	13.8	53	48.2	21	15.3
60歳代	214	50.0	117	17.9	205	49.8	101	15.5	207	49.6	118	18.8	278	48.3	135	16.8
70～74歳	166	52.2	102	21.9	183	52.0	97	20.2	182	54.8	97	20.9	253	57.2	108	19.5
(再)65～74歳	304	51.2	181	20.9	322	50.9	161	17.9	319	52.0	167	19.1	448	52.7	198	18.1

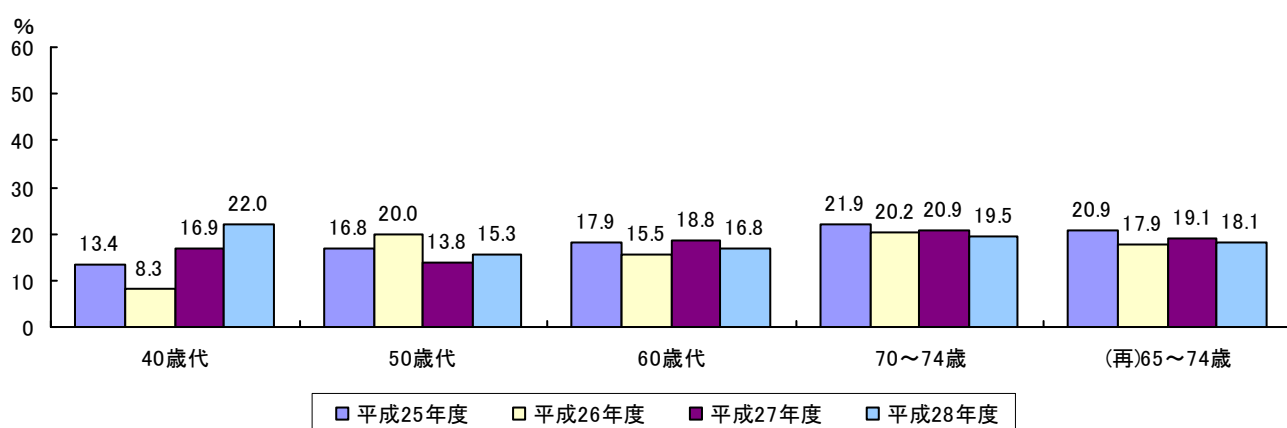
※65～74歳は再掲

資料：国保連合会 特定健診等データ管理システムより

腹囲（男性）



腹囲（女性）



(4) 中性脂肪

中性脂肪(摂取エネルギーの過剰)

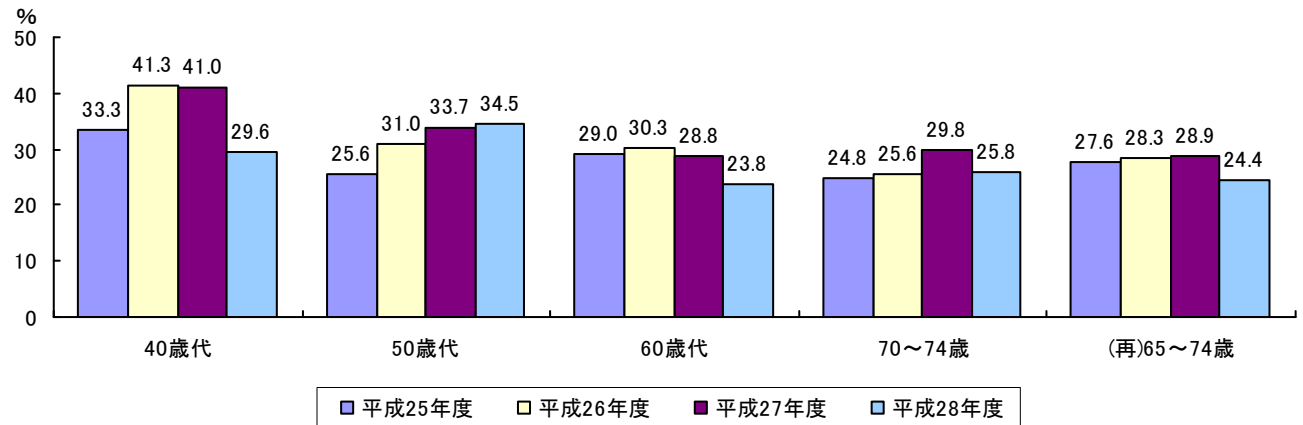
単位:人・%

	平成25年度				平成26年度				平成27年度				平成28年度			
	男性		女性		男性		女性		男性		女性		男性		女性	
健診有所見者	250		252		272		228		282		225		318		251	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
40歳代	26	33.3	9	11.0	31	41.3	10	11.9	34	41.0	12	14.5	29	29.6	11	10.1
50歳代	21	25.6	21	14.1	26	31.0	16	12.3	29	33.7	19	15.4	38	34.5	17	12.4
60歳代	124	29.0	135	20.7	125	30.3	111	17.0	120	28.8	114	18.1	137	23.8	133	16.5
70～74歳	79	24.8	87	18.7	90	25.6	91	18.9	99	29.8	80	17.2	114	25.8	90	16.2
(再)65～74歳	164	27.6	181	20.9	179	28.3	162	18.0	177	28.9	155	17.8	207	24.4	174	15.9

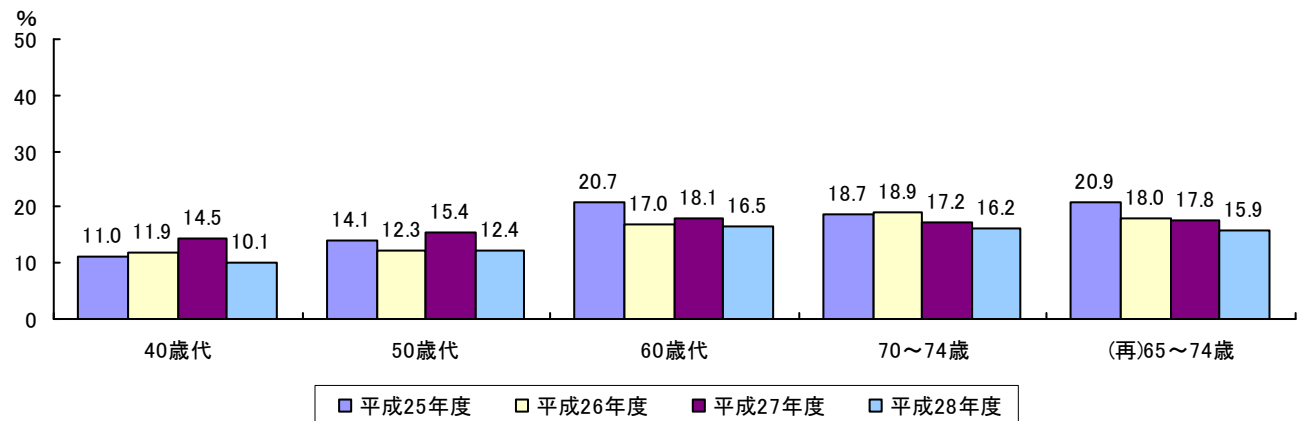
※65～74歳は再掲

資料:国保連合会 特定健診等データ管理システムより

中性脂肪(男性)



中性脂肪(女性)



(5) HDLコレステロール

HDLコレステロール(摂取エネルギーの過剰)

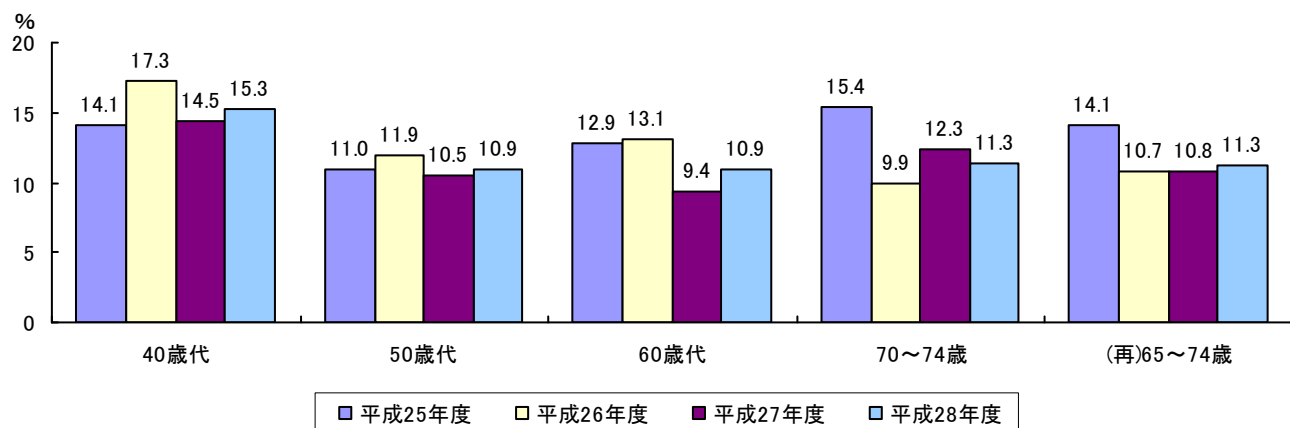
単位:人・%

	平成25年度				平成26年度				平成27年度				平成28年度			
	男性		女性		男性		女性		男性		女性		男性		女性	
健診有所見者	124		52		112		39		101		36		140		45	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
40歳代	11	14.1	5	6.1	13	17.3	4	4.8	12	14.5	3	3.6	15	15.3	5	4.6
50歳代	9	11.0	2	1.3	10	11.9	3	2.3	9	10.5	3	2.4	12	10.9	3	2.2
60歳代	55	12.9	19	2.9	54	13.1	15	2.3	39	9.4	14	2.2	63	10.9	18	2.2
70～74歳	49	15.4	26	5.6	35	9.9	17	3.5	41	12.3	16	3.4	50	11.3	19	3.4
(再)65～74歳	84	14.1	37	4.3	68	10.7	27	3.0	66	10.8	24	2.7	96	11.3	35	3.2

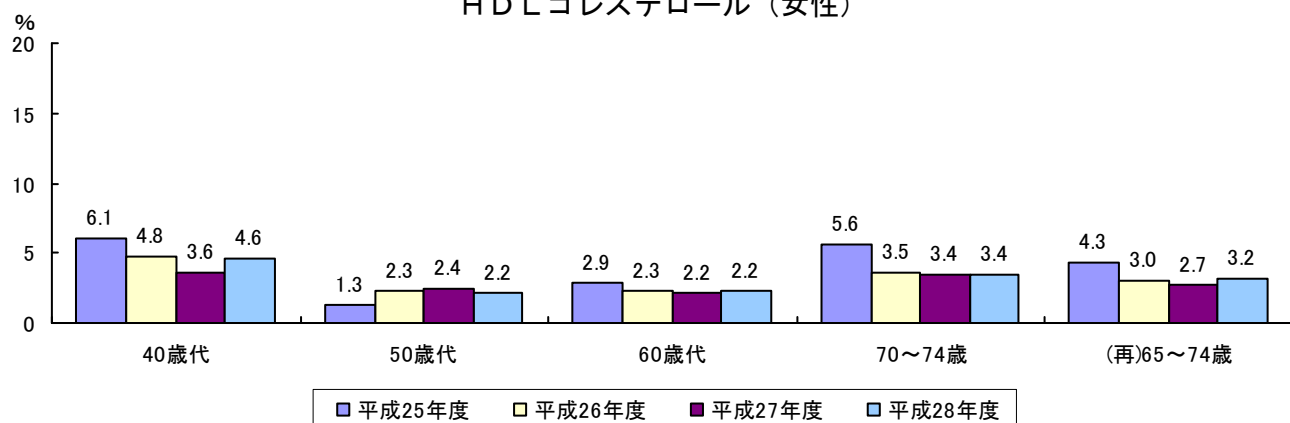
※65～74歳は再掲

資料:国保連合会 特定健診等データ管理システムより

HDLコレステロール (男性)



HDLコレステロール (女性)



(6) 血糖

血糖(血管の損傷)

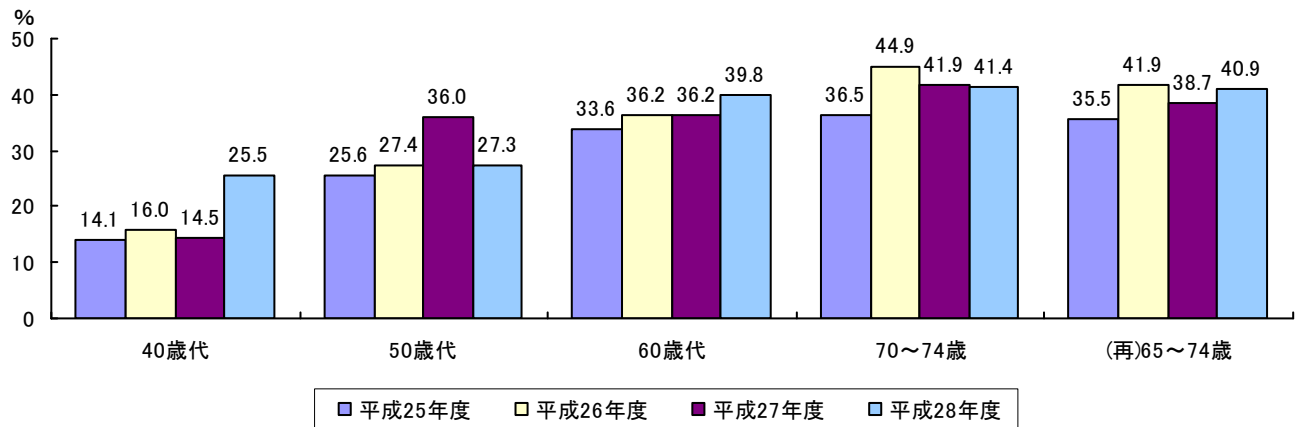
単位: 人・%

	平成25年度				平成26年度				平成27年度				平成28年度			
	男性		女性		男性		女性		男性		女性		男性		女性	
健診有所見者	292		323		342		347		333		328		467		411	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
40歳代	11	14.1	7	8.5	12	16.0	6	7.1	12	14.5	3	3.6	25	25.5	14	12.8
50歳代	21	25.6	20	13.4	23	27.4	15	11.5	31	36.0	22	17.9	30	27.3	23	16.8
60歳代	144	33.6	156	23.9	149	36.2	168	25.7	151	36.2	161	25.6	229	39.8	208	25.9
70～74歳	116	36.5	140	30.1	158	44.9	158	32.8	139	41.9	142	30.6	183	41.4	166	29.9
(再)65～74歳	211	35.5	243	28.0	265	41.9	273	30.3	237	38.7	239	27.4	348	40.9	300	27.5

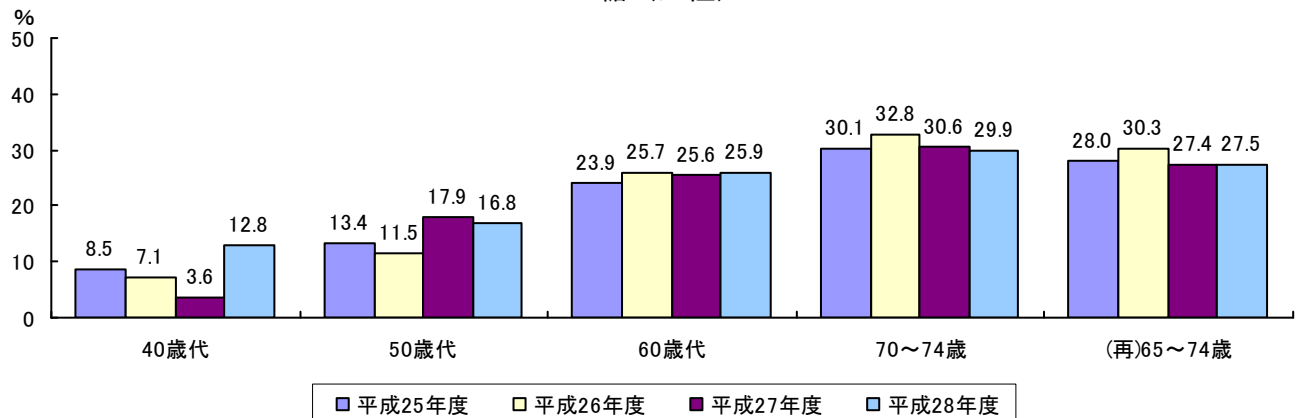
※65～74歳は再掲

資料: 国保連合会 特定健診等データ管理システムより

血糖(男性)



血糖(女性)



(7) H b A 1 c

H b A 1 c (血管の損傷)

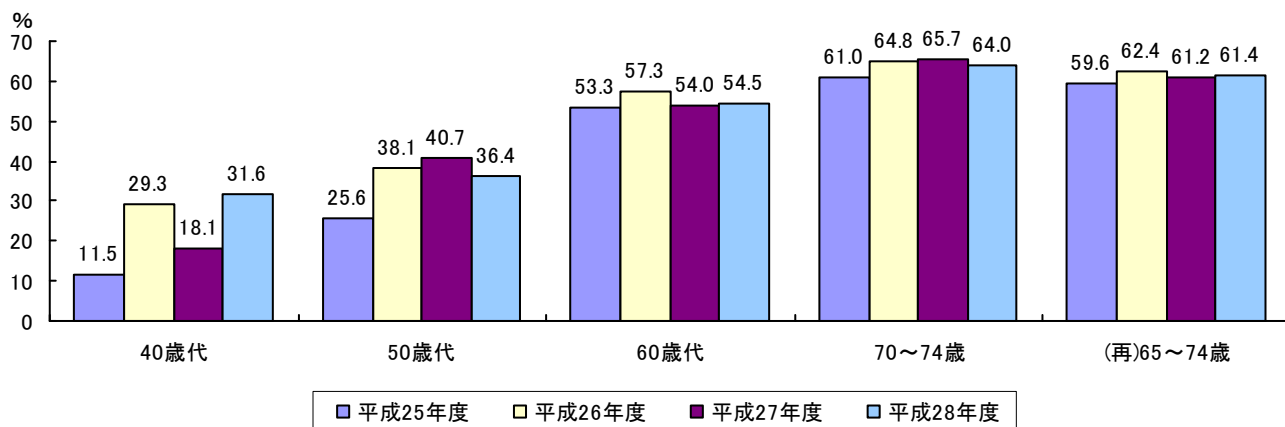
単位:人・%

	平成25年度				平成26年度				平成27年度				平成28年度			
	男性		女性		男性		女性		男性		女性		男性		女性	
健診有所見者	452		681		518		764		493		673		668		917	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
40歳代	9	11.5	6	7.3	22	29.3	14	16.7	15	18.1	14	16.9	31	31.6	23	21.1
50歳代	21	25.6	34	22.8	32	38.1	54	41.5	35	40.7	43	35.0	40	36.4	55	40.1
60歳代	228	53.3	338	51.8	236	57.3	362	55.4	225	54.0	326	51.8	314	54.5	471	58.6
70～74歳	194	61.0	303	65.2	228	64.8	334	69.4	218	65.7	290	62.5	283	64.0	368	66.3
(再)65～74歳	354	59.6	557	64.2	395	62.4	575	63.8	375	61.2	504	57.7	522	61.4	679	62.2

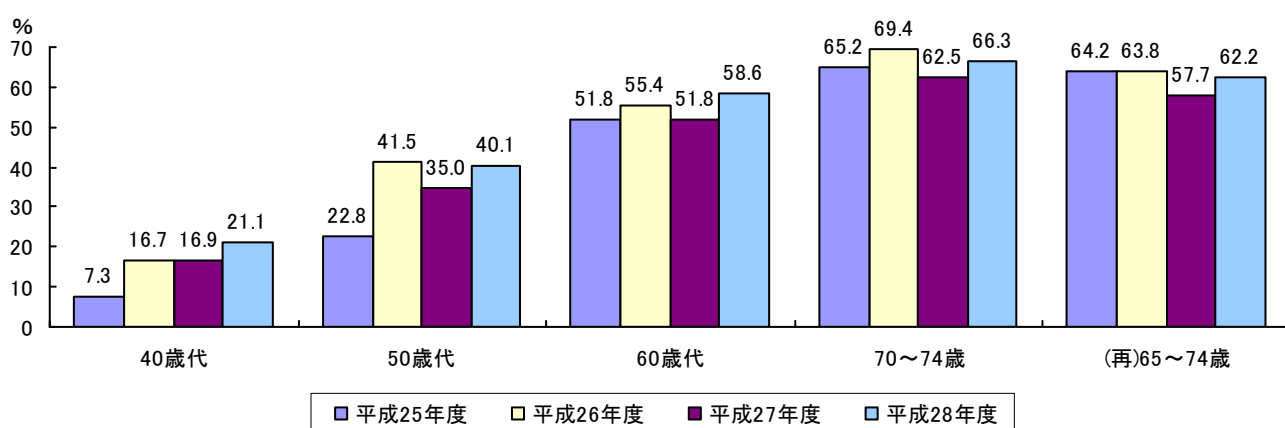
※65～74歳は再掲

資料: 国保連合会 特定健診等データ管理システムより

H b A 1 c (男性)



H b A 1 c (女性)



(8) 収縮期血圧

収縮期血圧（血管の損傷）

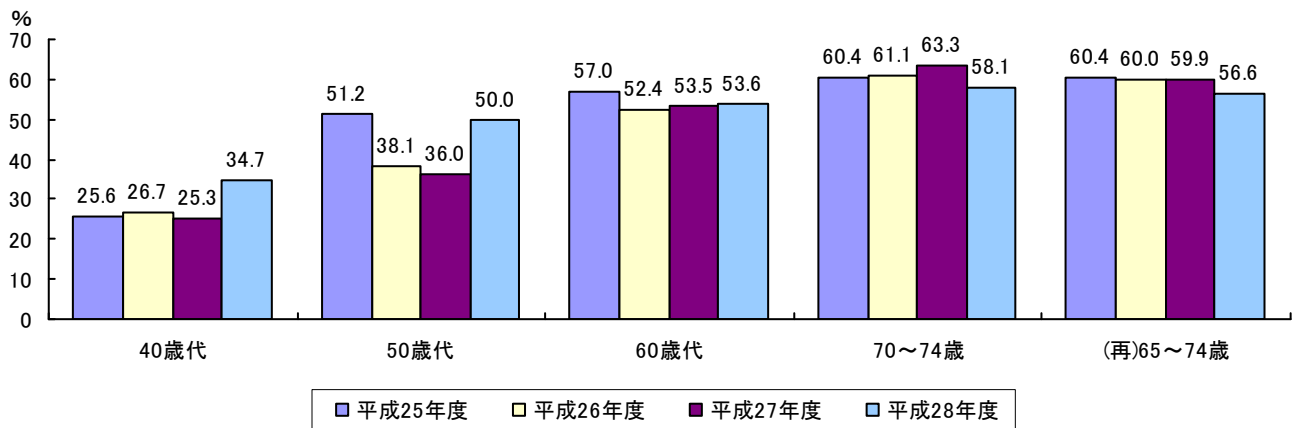
単位：人・％

	平成25年度				平成26年度				平成27年度				平成28年度			
	男性		女性		男性		女性		男性		女性		男性		女性	
健診有所見者	498		642		483		648		485		602		655		740	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
40歳代	20	25.6	11	13.4	20	26.7	15	17.9	21	25.3	10	12.0	34	34.7	19	17.4
50歳代	42	51.2	51	34.2	32	38.1	40	30.8	31	36.0	32	26.0	55	50.0	49	35.8
60歳代	244	57.0	321	49.2	216	52.4	315	48.2	223	53.5	305	48.5	309	53.6	373	46.4
70～74歳	192	60.4	259	55.7	215	61.1	278	57.8	210	63.3	255	55.0	257	58.1	299	53.9
(再)65～74歳	359	60.4	469	54.0	380	60.0	504	55.9	367	59.9	466	53.4	481	56.6	555	50.9

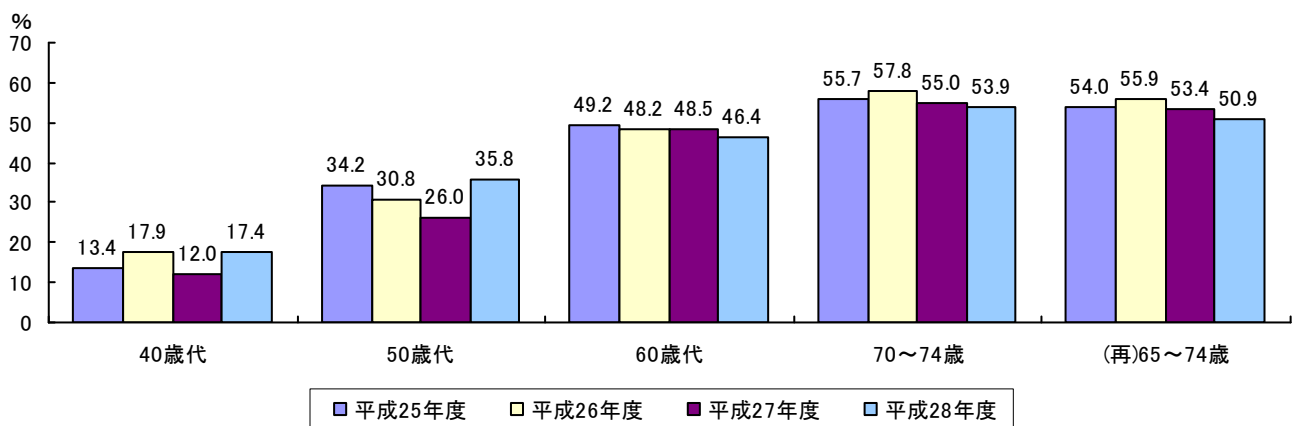
※65～74歳は再掲

資料：国保連合会 特定健診等データ管理システムより

収縮期血圧（男性）



収縮期血圧（女性）



(9) 拡張期血圧

拡張期血圧（血管の損傷）

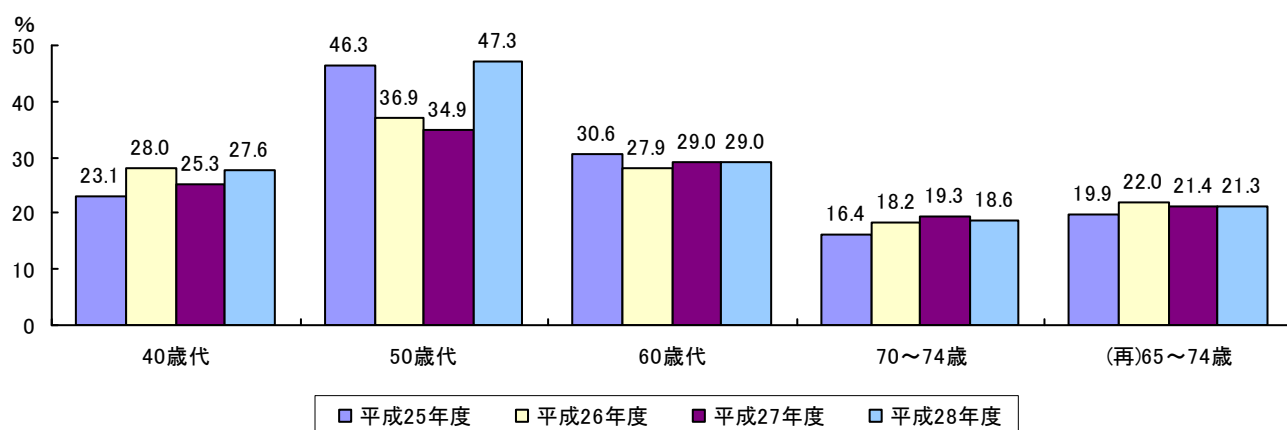
単位：人・％

	平成25年度				平成26年度				平成27年度				平成28年度			
	男性		女性		男性		女性		男性		女性		男性		女性	
健診有所見者	239		193		231		164		236		185		328		225	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
40歳代	18	23.1	5	6.1	21	28.0	8	9.5	21	25.3	6	7.2	27	27.6	14	12.8
50歳代	38	46.3	26	17.4	31	36.9	23	17.7	30	34.9	16	13.0	52	47.3	27	19.7
60歳代	131	30.6	113	17.3	115	27.9	90	13.8	121	29.0	104	16.5	167	29.0	129	16.0
70～74歳	52	16.4	49	10.5	64	18.2	43	8.9	64	19.3	59	12.7	82	18.6	55	9.9
(再)65～74歳	118	19.9	104	12.0	139	22.0	96	10.7	131	21.4	120	13.7	181	21.3	127	11.6

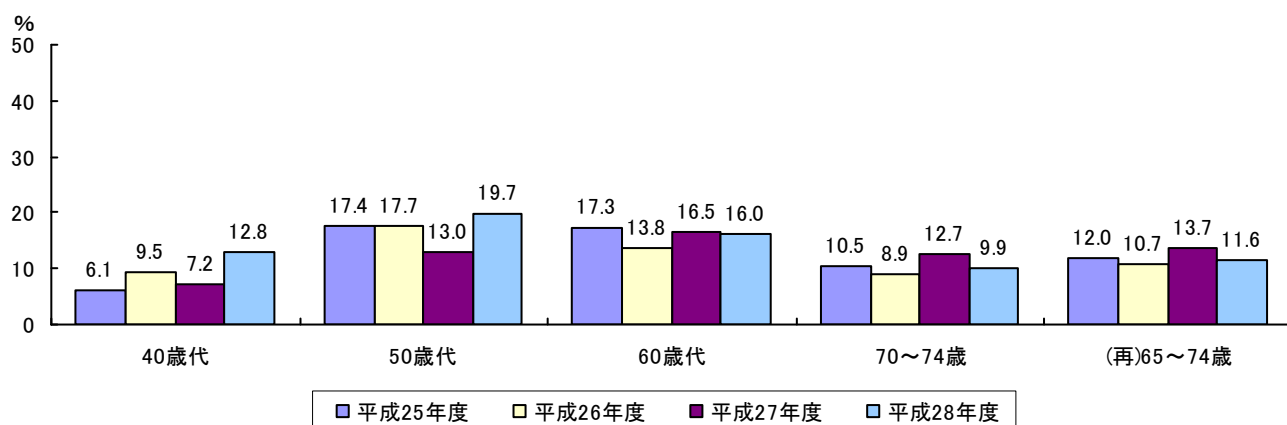
※65～74歳は再掲

資料：国保連合会 特定健診等データ管理システムより

拡張期血圧（男性）



拡張期血圧（女性）



4. メタボリックシンドローム該当者・予備群の状況

(1) メタボリックシンドローム予備群 (40 歳代)

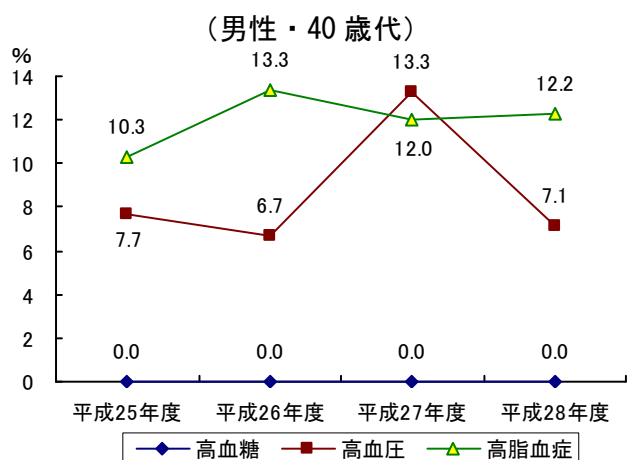
メタボリックシンドローム予備群の状況 (40 歳代)

単位:人・%

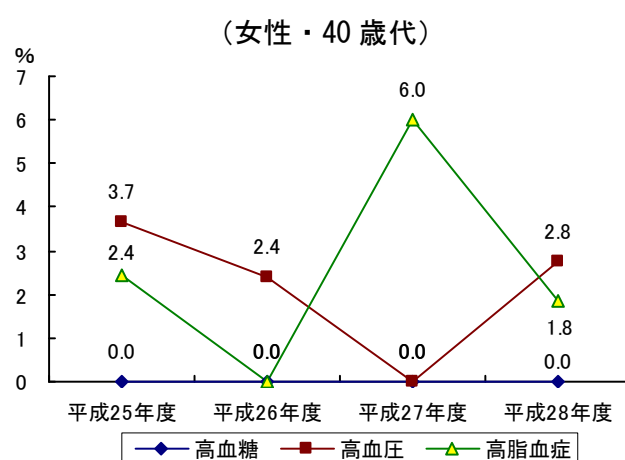
	平成25年度				平成26年度				平成27年度				平成28年度			
	男性		女性		男性		女性		男性		女性		男性		女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
健診受診者	78		82		75		84		83		83		98		109	
高血糖	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
高血圧	6	7.7	3	3.7	5	6.7	2	2.4	11	13.3	0	0.0	7	7.1	3	2.8
高脂血症	8	10.3	2	2.4	10	13.3	0	0.0	10	12.0	5	6.0	12	12.2	2	1.8

資料:国保連合会 特定健診等データ管理システムより

メタボリックシンドローム予備群



メタボリックシンドローム予備群



(2) メタボリックシンドローム予備群 (50 歳代)

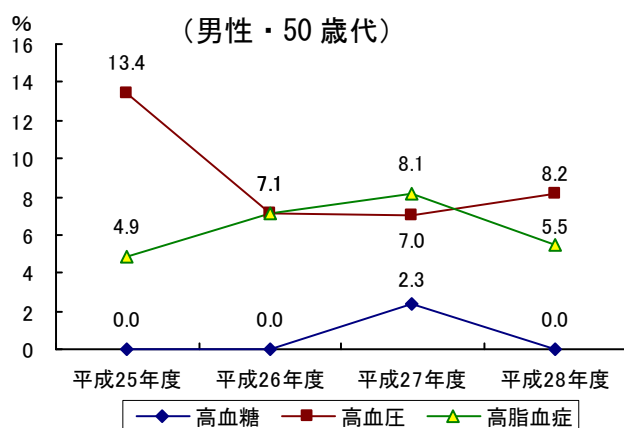
メタボリックシンドローム予備群の状況 (50 歳代)

単位:人・%

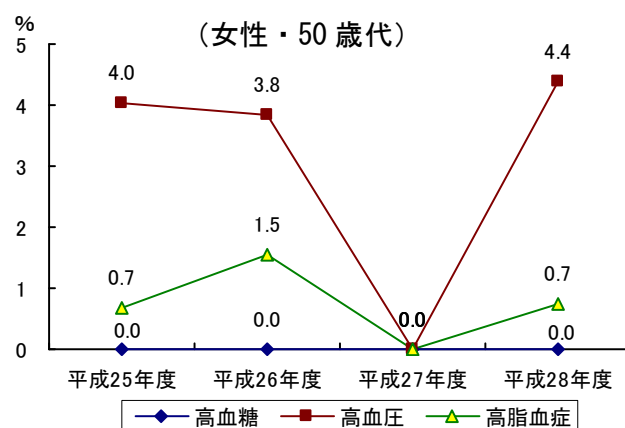
	平成25年度				平成26年度				平成27年度				平成28年度			
	男性		女性		男性		女性		男性		女性		男性		女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
健診受診者	82		149		84		130		86		123		110		137	
高血糖	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	2.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
高血圧	11	13.4	6	4.0	6	7.1	5	3.8	6	7.0	0	0.0	9	8.2	6	4.4
高脂血症	4	4.9	1	0.7	6	7.1	2	1.5	7	8.1	0	0.0	6	5.5	1	0.7

資料:国保連合会 特定健診等データ管理システムより

メタボリックシンドローム予備群



メタボリックシンドローム予備群



(3) メタボリックシンドローム予備群 (60 歳代)

メタボリックシンドローム予備群の状況 (60 歳代)

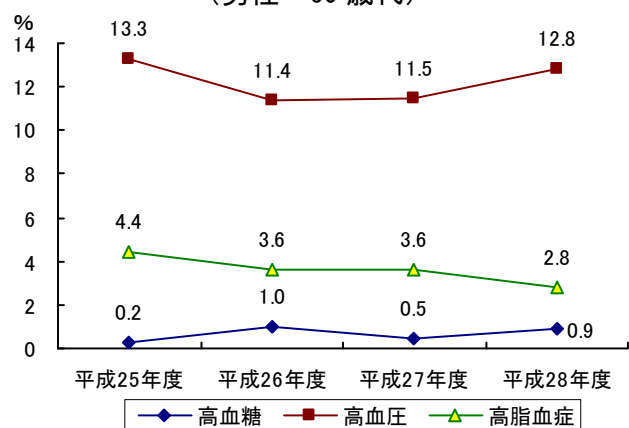
単位: 人・%

	平成25年度				平成26年度				平成27年度				平成28年度			
	男性		女性		男性		女性		男性		女性		男性		女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
健診受診者	428		652		412		653		417		629		576		804	
高血糖	1	0.2	0	0.0	4	1.0	0	0.0	2	0.5	1	0.2	5	0.9	2	0.2
高血圧	57	13.3	29	4.4	47	11.4	22	3.4	48	11.5	35	5.6	74	12.8	35	4.4
高脂血症	19	4.4	9	1.4	15	3.6	9	1.4	15	3.6	7	1.1	16	2.8	8	1.0

資料: 国保連合会 特定健診等データ管理システムより

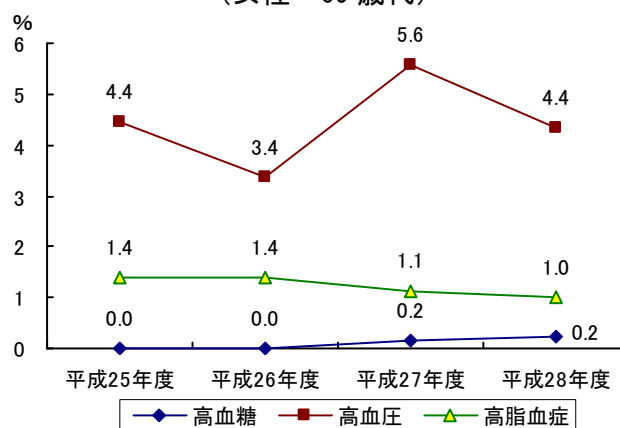
メタボリックシンドローム予備群

(男性・60 歳代)



メタボリックシンドローム予備群

(女性・60 歳代)



(4) メタボリックシンドローム予備群 (70～74 歳)

メタボリックシンドローム予備群の状況 (70～74 歳)

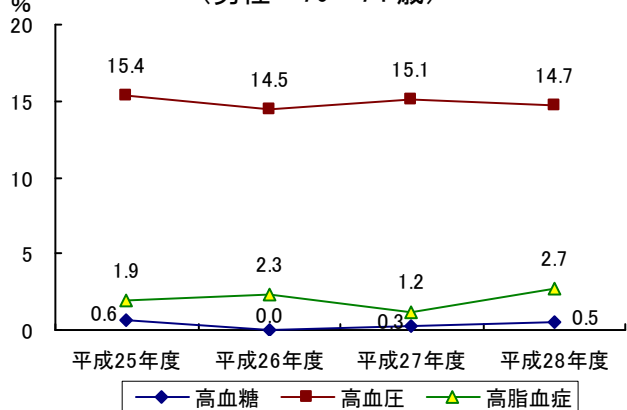
単位: 人・%

	平成25年度				平成26年度				平成27年度				平成28年度			
	男性		女性		男性		女性		男性		女性		男性		女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
健診受診者	318		465		352		481		332		464		442		555	
高血糖	2	0.6	2	0.4	0	0.0	3	0.6	1	0.3	2	0.4	2	0.5	0	0.0
高血圧	49	15.4	25	5.4	51	14.5	17	3.5	50	15.1	18	3.9	65	14.7	19	3.4
高脂血症	6	1.9	5	1.1	8	2.3	5	1.0	4	1.2	6	1.3	12	2.7	7	1.3

資料: 国保連合会 特定健診等データ管理システムより

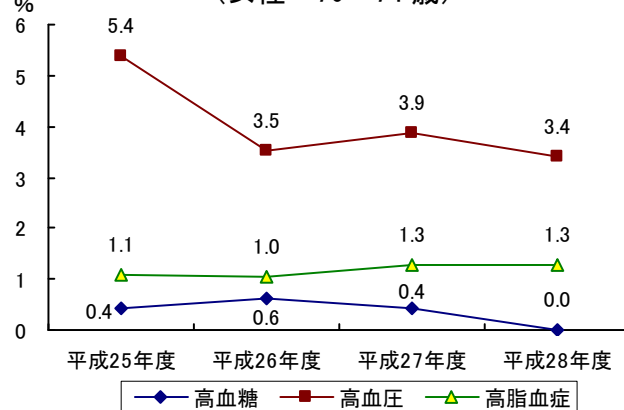
メタボリックシンドローム予備群

(男性・70～74 歳)



メタボリックシンドローム予備群

(女性・70～74 歳)



(5) メタボリックシンドローム該当者 (40 歳代)

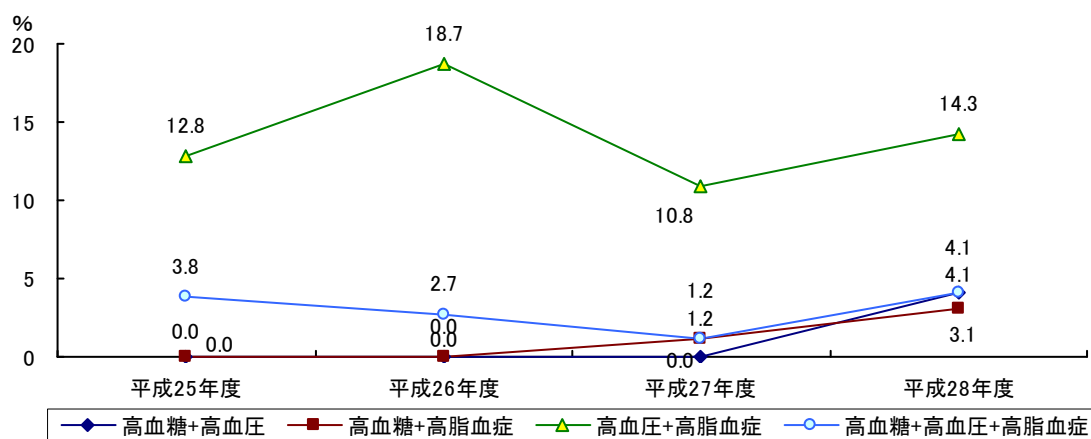
メタボリックシンドローム該当者の状況 (40 歳代)

単位: 人・%

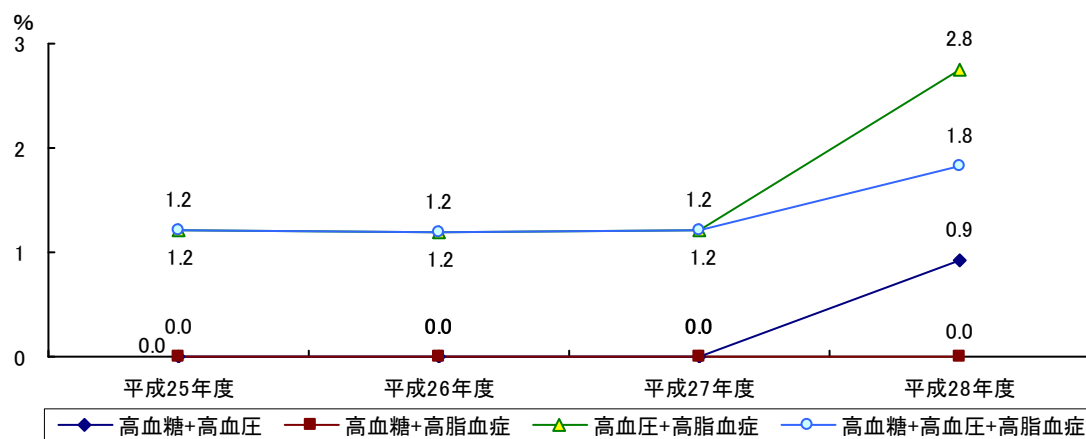
健診受診者	平成25年度				平成26年度				平成27年度				平成28年度			
	男性		女性		男性		女性		男性		女性		男性		女性	
	78		82		75		84		83		83		98		109	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
高血糖+高血圧	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	4	4.1	1	0.9
高血糖+高脂血症	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	1.2	0	0.0	3	3.1	0	0.0
高血圧+高脂血症	10	12.8	1	1.2	14	18.7	1	1.2	9	10.8	1	1.2	14	14.3	3	2.8
高血糖+高血圧+高脂血症	3	3.8	1	1.2	2	2.7	1	1.2	1	1.2	1	1.2	4	4.1	2	1.8

資料: 国保連合会 特定健診等データ管理システムより

メタボリックシンドローム該当者 (男性・40 歳代)



メタボリックシンドローム該当者 (女性・40 歳代)



(6) メタボリックシンドローム該当者 (50 歳代)

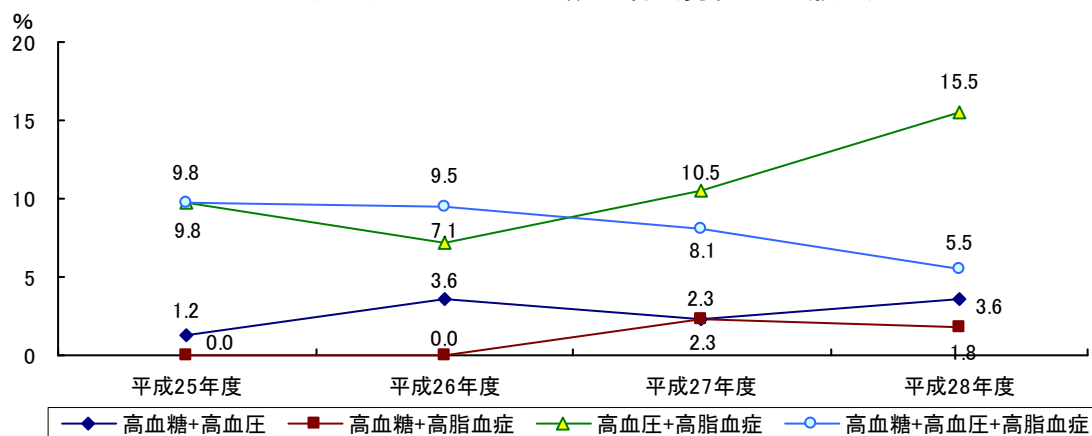
メタボリックシンドローム該当者の状況 (50 歳代)

単位: 人・%

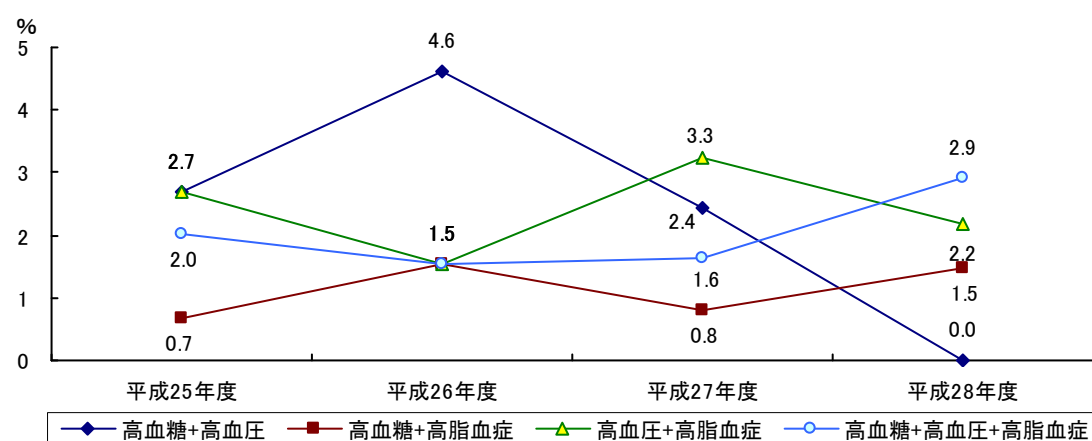
	平成25年度				平成26年度				平成27年度				平成28年度			
	男性		女性		男性		女性		男性		女性		男性		女性	
	82		149		84		130		86		123		110		137	
健診受診者	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
高血糖+高血圧	1	1.2	4	2.7	3	3.6	6	4.6	2	2.3	3	2.4	4	3.6	0	0.0
高血糖+高脂血症	0	0.0	1	0.7	0	0.0	2	1.5	2	2.3	1	0.8	2	1.8	2	1.5
高血圧+高脂血症	8	9.8	4	2.7	6	7.1	2	1.5	9	10.5	4	3.3	17	15.5	3	2.2
高血糖+高血圧+高脂血症	8	9.8	3	2.0	8	9.5	2	1.5	7	8.1	2	1.6	6	5.5	4	2.9

資料: 国保連合会 特定健診等データ管理システムより

メタボリックシンドローム該当者 (男性・50 歳代)



メタボリックシンドローム該当者 (女性・50 歳代)



(7) メタボリックシンドローム該当者 (60 歳代)

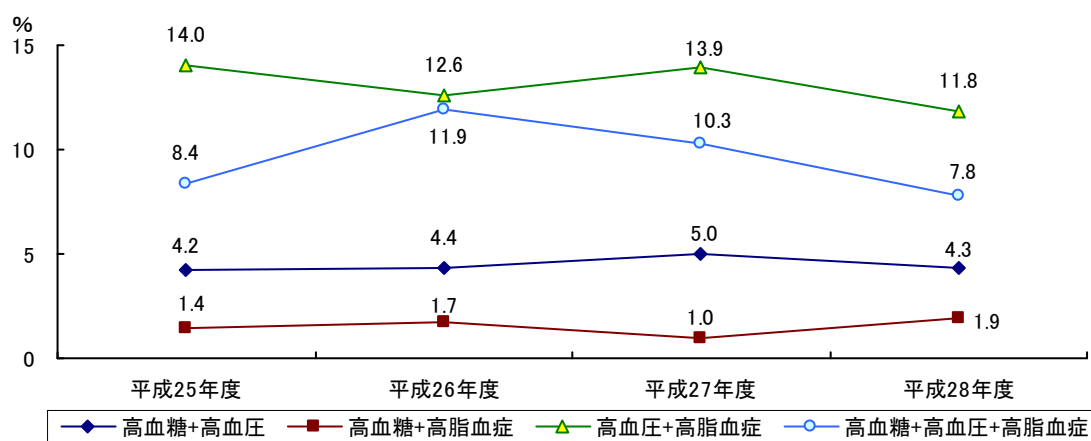
メタボリックシンドローム該当者の状況 (60 歳代)

単位:人・%

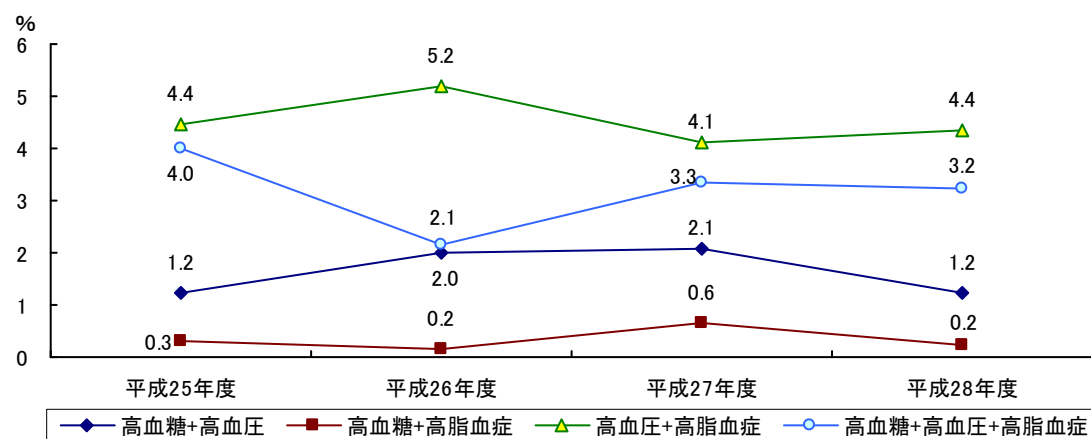
	平成25年度				平成26年度				平成27年度				平成28年度			
	男性		女性		男性		女性		男性		女性		男性		女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
健診受診者	428		652		412		653		417		629		576		804	
高血糖+高血圧	18	4.2	8	1.2	18	4.4	13	2.0	21	5.0	13	2.1	25	4.3	10	1.2
高血糖+高脂血症	6	1.4	2	0.3	7	1.7	1	0.2	4	1.0	4	0.6	11	1.9	2	0.2
高血圧+高脂血症	60	14.0	29	4.4	52	12.6	34	5.2	58	13.9	26	4.1	68	11.8	35	4.4
高血糖+高血圧+高脂血症	36	8.4	26	4.0	49	11.9	14	2.1	43	10.3	21	3.3	45	7.8	26	3.2

資料: 国保連合会 特定健診等データ管理システムより

メタボリックシンドローム該当者 (男性・60 歳代)



メタボリックシンドローム該当者 (女性・60 歳代)



(8) メタボリックシンドローム該当者 (70～74 歳)

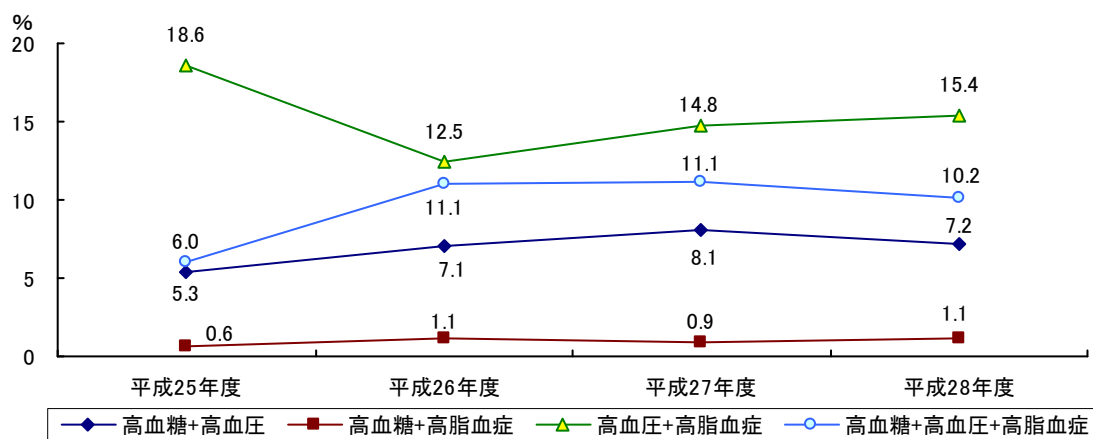
メタボリックシンドローム該当者の状況 (70～74 歳)

単位: 人・%

	平成25年度				平成26年度				平成27年度				平成28年度			
	男性		女性		男性		女性		男性		女性		男性		女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
健診受診者	318		465		352		481		332		464		442		555	
高血糖+高血圧	17	5.3	9	1.9	25	7.1	9	1.9	27	8.1	9	1.9	32	7.2	8	1.4
高血糖+高脂血症	2	0.6	2	0.4	4	1.1	2	0.4	3	0.9	1	0.2	5	1.1	1	0.2
高血圧+高脂血症	59	18.6	31	6.7	44	12.5	26	5.4	49	14.8	45	9.7	68	15.4	48	8.6
高血糖+高血圧+高脂血症	19	6.0	25	5.4	39	11.1	30	6.2	37	11.1	11	2.4	45	10.2	21	3.8

資料: 国保連合会 特定健診等データ管理システムより

メタボリックシンドローム該当者 (男性・70～74 歳)



メタボリックシンドローム該当者 (女性・70～74 歳)

